

KENWOOD

地上デジタルTVチューナー

KNA-DT130

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書を大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



共通

C01	目次	2
C02	安全上のご注意	3
C03	本書の読みかた	6
C04	使用上のご注意	8
C05	地上デジタルテレビ放送について	10
C06	B-CASカードについて	11
C07	B-CASカードを入れる/取り出す	12
C08	地デジをセットアップする	13

観る

T01	タッチ操作で地デジを観る	17
T02	地デジ操作ボタンで操作する	18
T03	リモコン操作で地デジを観る	21
T04	リモコンで操作する	22
T05	プリセット番号順に選局する	24
T06	プリセットボタンで選局する	25
T07	プリセット一覧で選局する	26
T08	番組表で選局する	27
T09	番組表を操作する	28
T10	現在の番組の詳細情報を表示する	29
T11	3桁のチャンネル番号で選局する	30
T12	チャンネル順に選局する	31
T13	パナー表示やチャンネル表示を オン/オフする	32
T14	パナー表示とチャンネル表示	33
T15	映像、音声、字幕を切り替える	34
T16	受信モードを切り替える	35
T17	番組の続きを観る	36
T18	データ放送を観る	37
T19	データ放送画面で操作する	38
T20	緊急放送を受信すると	40

設定

S01	地デジメニュー	41
S02	現在地を設定する	42
S03	番組表などを表示する	43
S04	プリセットされている放送局のリストを 初期化する	44
S05	データ放送を利用する地域を設定する	46
S06	パナー表示を設定する	48
S07	文字スーパーの表示方法を設定する	50
S08	ユーザー画面の表示方法を設定する	52
S09	画面の位置を調整する	54

S10	操作時のピーブ音を設定する	56
S11	放送事業者領域を表示/削除する	58
S12	セットアップしなおす	60
S13	受信できるチャンネルを確認する	61
S14	自動受信モードの動作を設定する	64
S15	アンテナを設定する	66
S16	現在地で受信できる放送局を プリセットする	68
S17	B-CASカードをテストする	70
S18	放送局からの情報を見る	72
S19	ソフトウェアをバージョンアップする	74
S20	設定を初期化する	76
S21	お買い上げ時の状態に戻す	78

取付

I01	安全上のご注意	80
I02	取付部品一覧	82
I03	作業の進めかた	83
I04	KNA-DT130本体の取り付け	84
I05	フィルムアンテナの取り付け	85
I06	リモコン受光部の取り付け	90
I07	ナビへの接続	91
I08	電源の接続	92

付録



A01	故障かな?と思ったら	93
A02	チャンネル一覧	96
A03	地上デジタルTVチューナー・ソフトウェア 使用許諾契約書	98
A04	主な仕様	99
A05	保証とアフターサービス	100
A06	用語集	101
A07	索引	102

安全上のご注意




製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

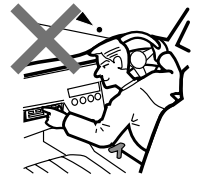
 禁止	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。



運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。



⚠ 警告

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。



実施

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な臭いがする



禁止

修理は必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。



禁止

画面が表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



実施

万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。



実施

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。




実施

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い求めの販売店にご依頼ください。取り付け作業には専門技術が必要です。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

 **注意****禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
割れてケガをするおそれがあります。

**実施**

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

C
共通T
観
るS
設
定I
取
付A
付
録

本書の構成

本書は、地上デジタルTVチューナー KNA-DT130（以降、「本機」）のすべての機能の操作および取り付け方法を説明したリファレンスマニュアルで、本機の機能とメニューに従って構成されています。


- Cxx** : 本機全体に関することが記載されています（共通）。
- Txx** : 地デジを観るための操作に関することが記載されています（観る）。
- Sxx** : 地デジの設定に関することが記載されています（設定）。
- Ixx** : 地デジの取り付けに関することが記載されています（取付）。
- Axx** : 関連する資料や用語索引などが記載されています（付録）。

S 02 **現在地を設定する**


地上デジタルテレビ放送の放送局をプリセットするために、現在地（都道府県）を設定します。

Before Step **S01**（地デジメニューを表示する）


1 **地デジメニュー画面で、[現在地設定]にタッチします。**



2 **「← または →」にタッチして、地域を選択します。**




3 **現在地の都道府県のボタンにタッチします。**




Complete

● 項番
本書中での参照は、すべてこの項番で示されています。

● リード
この項に記載されている機能が簡潔に説明されています。

● 
リモコンでのみできる操作を表します。

● 
ナビのタッチパネルでのみできる操作を表します。

無印
リモコンとナビのタッチパネルのどちらでもできる操作を表します。

● Before Step
この操作を始める前に行う操作です。

● この画面を見ながら、右側に記載されている操作を行います。

● タッチ操作
ナビのタッチパネルでの操作を表しています。

● リモコン操作
リモコンで操作するキーを表しています。

● Next Page
次のページへ続きます。

Complete
ここで操作完了です。

● 注意など caution
操作上で特に気をつけていただきたいことが記載されています。

note
補足説明や制限事項などが記載されています。

≡ note

- リモコンでは、[現在地設定]キーを押すと、手順2の現在地設定画面を表示できます。
- 現在地を変更すると、地上デジタルテレビ放送の放送局がスキャンされ、受信できた放送局がプリセットボタンに割り当てられます。
- 画面上げ時の状態では、現在地は東京都に設定されています。

26 観る

C
共通

T
観る

S
設定

I
取付

A
付録

説明ページの探しかた

本書には次の2種類のインデックスが用意されています。

目次 目次 C01

本書に記載されている順に、見出しとページ番号が記載されています。

索引 索引 A07

地デジで使われる機能の名称や用語から、その説明ページを探せます。たとえば、「受信モード」で探せば、本機の受信モードの切り替えに関する説明箇所の番号が記載されています。

索引は、巻末にあります。

本機の接続方法と操作について

本機をケンウッド製ナビゲーションシステムHDV-990またはHDV-790（以降、「対応ナビ」）と専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合には、本機の操作はナビのタッチパネルで操作できます（リモコンでも操作できます）。付属のAVケーブルの接続状態は無関係です。

本機を上記以外のモデルのナビまたはその他のAV機器（以降、「対応ナビ以外の機器等」）と付属のAVケーブルで接続している場合には、リモコンで操作します。

画面例について

本書には、ケンウッド製ナビゲーションシステムHDV-990またはHDV-790（別売品）と専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合に表示される画面を記載しています。

≡ note

- 本書に記載されている画面例は、説明用に作成したものであり、実際のものとは異なる場合があります。

番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺的环境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音をはいる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないでください。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を動作させると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音が出なくなることがあります。
- 本機は、双方向データサービスには対応していません。

B-CASカードについて

- B-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- タッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。カードの曲がり等により、使用できなくなる恐れがあります。
- 使用許諾契約約款をよくお読みの上、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを機器に正しく挿入してください。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、米国特許及びその知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマイクロビジョンコピーレーションの許諾が必要であり、マイクロビジョンコピーレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外には使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEに基づきライセンスされており、本機のAVC機能は、お客様が以下のいずれか、または両方を行うための個人的利用および非商用利用目的に限るものとします。
 - (i) AVC規格に従いビデオを記録すること（以下「AVCビデオ」といいます）
 - (ii) 個人的、非商目的行為に従事する消費者により記録されたか、AVCビデオを提供するためにライセンスを受けたビデオ提供者から取得したAVCビデオを再生すること他の使用および使用許諾に関する情報については、MPEG LA L.L.C.より取得できます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。
- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。

- This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両（タクシー・トラック・バス・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に登録した情報（プリセット登録など）の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客様の責任において行なってください。
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によってプリセット登録など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取扱わなかった場合や常識を超えた使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、現行のアナログテレビ（VHF/UHF）放送がデジタル化された（UHF帯の電波を使って行う）放送で、2003年12月から開始された放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
- お車の走行地域で放送が開始されている必要があります。県域（都道府県）を選択して現在地の設定をしてください。 **S02**
- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。

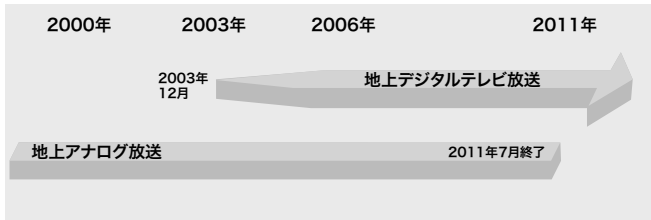


- 日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行っています。ワンセグは、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。本機ではワンセグの受信も可能です。
- ワンセグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグよりも長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。
- ワンセグでは、2008年までは12セグと同じ番組が同じ時間に放送される予定です（サイマル放送）。

- B-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。 **C07**

アナログテレビ放送から地上デジタルテレビ放送への移行スケジュールについて

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

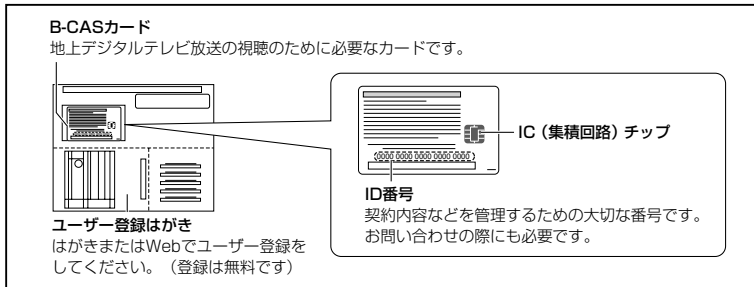


- アナログテレビ放送とは従来からのVHF/UHF放送のことです。

B-CASカードについて

B-CASカードは地上デジタルテレビ放送を受信するうえで必ず必要なカードです。

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。ID番号は大切な番号です。(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から電波に原則として「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
- B-CASカード取り扱い上の留意点
 - B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - B-CASカードのIC (集積回路) チップには手をふれないでください。
 - B-CASカードの分解加工は行わないでください。
 - B-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。☞ C07
 - ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - 付属のB-CASカードの所有権は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - 付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - B-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。
 - 本機の修理を依頼されるときは、本機よりB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

B-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のB-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

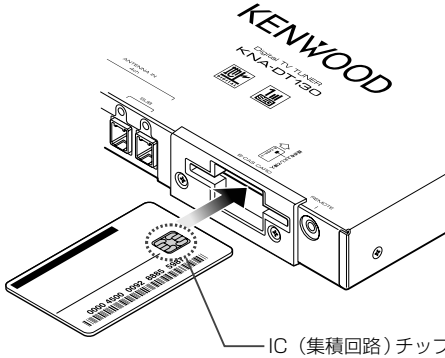
- B-CASカードの台紙に記載されている「ピーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」は、よく読みになった上、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客さまのB-CASカードのID番号は控えておいてください。

B-CASカードを入れる/取り出す

本機を使用するときには、B-CASカードを差し込んでおきます。必要に応じて、B-CASカードを取り出します。

B-CASカードをセットするときは

1. 車のイグニッションスイッチがオフになっていることを確認します。
2. IC（集積回路）チップのある面を上にして、B-CASカードを差し込みます。



B-CASカードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込みます。

B-CASカードを取り出すときは

1. 車のイグニッションスイッチがオフになっていることを確認します。
2. B-CASカードを引き抜きます。

≡ caution

- B-CASカードは、車のイグニッションスイッチが「ON」または「ACC」の状態では絶対に抜き差ししないでください。
- B-CASカードは、本機を修理に出すときや画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。

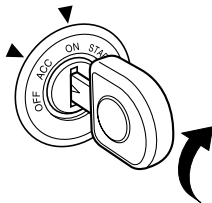
≡ note

- 本機を使用するときには、B-CASカードが正しくセットされている必要があります。
- B-CASカードは、正しい向き（表裏や前後）で差し込んでください。向きが間違っていると、B-CASカードは機能しません。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、約3秒以上待ってから、B-CASカードテスト(ICカードテスト)を実行してください。

地デジをセットアップする

取り付け後、初めて本機の電源をオンにするとかんたんセットアップ画面が表示されます。かんたんセットアップでは、地デジを観るための最低限の設定を行います。

1



ACCをオンにします。

2

ソースを地デジに切り替えます。

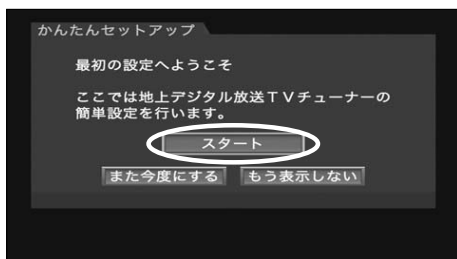


T01



T03

3



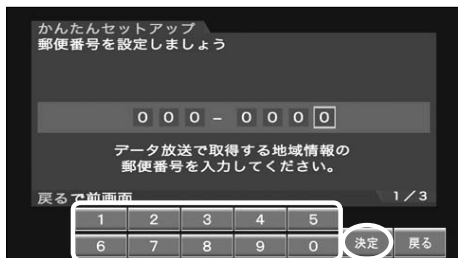
[スタート]にタッチします。



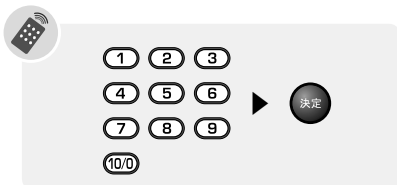
決定

Next Page

4

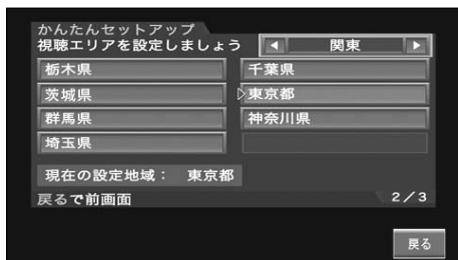


1 ~ 0 にタッチして7桁の郵便番号を入力し、[決定]にタッチします。



ここでは、データ放送を受信する地域を指定します。

5

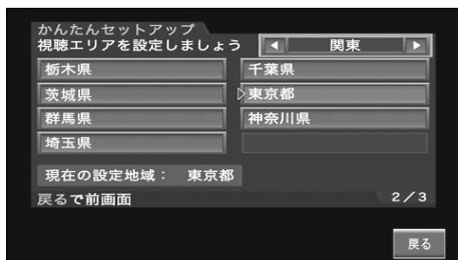


◀ または ▶ にタッチして地域を選択します。



ここでは、現在地の都道府県のある地域を指定します。

6

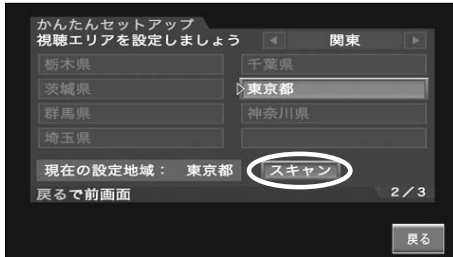


現在地の都道府県のボタンにタッチします。

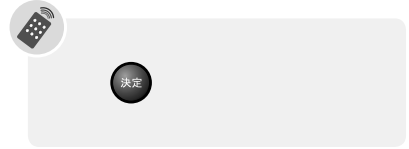


Next Page

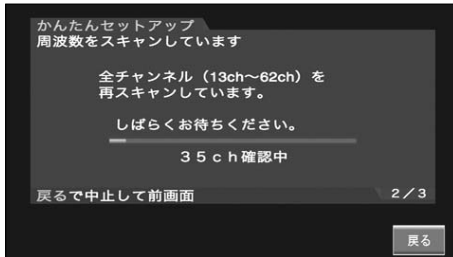
7



[スキャン]にタッチします。



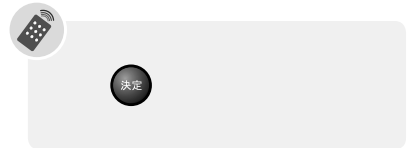
放送局がスキャンされ、受信できた放送局がプリセットボタンに割り当てられます。



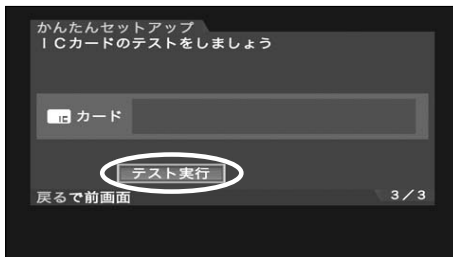
8



受信できた放送局を確認し、[決定]にタッチします。



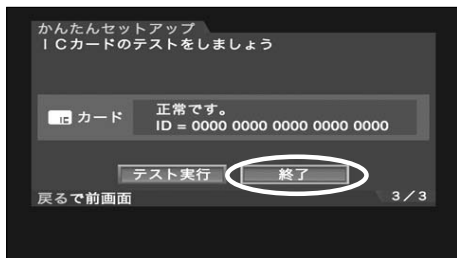
9



[テスト実行]にタッチします。



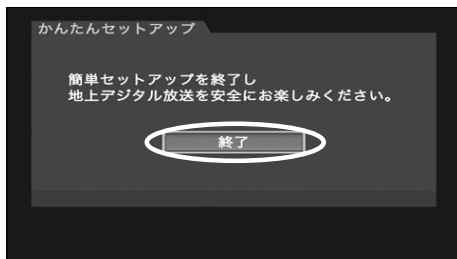
10



[終了]にタッチします。



11



[終了]にタッチします。



Complete

≡ note

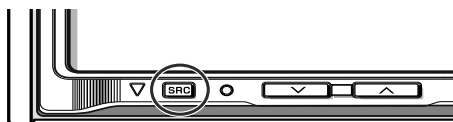
- 本機を対応ナビ以外の機器等に付属のAVケーブルで接続している場合、取付後に初めてACCをオンにしたときには、自動的に本機の電源がオンになり、かんたんセットアップが開始されます。
- リモコン使用時に、ACCをオンにしても本機の電源がオンにならない場合は、リモコンの[POWER]キーを押してオンにしてください。
- かんたんセットアップは、本機をお買い上げ時の状態に初期化 (P.53 S21) したあとに初めて電源をオンにしたときにも表示されます。
- かんたんセットアップをやり直すこともできます。(P.53 S12)
- 手順1で[また今度にする]または[もう表示しない]を選択した場合には受信できるチャンネルのスキャンは行われていません。実際に受信できるチャンネルをスキャンしてプリセットしてください。(P.53 S16)
- データ放送の受信地域が設定されている場合には、手順4の画面に現在の設定が表示されます。
- 手順3の画面に現在の設定地域が表示されます。お買い上げ時の状態では、現在地は東京都に設定されています。

タッチ操作で地デジを観る



本機をケンウッド製ナビゲーションシステムHDV-990またはHDV-790（以降、「対応ナビ」）と専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合（**T03** **107**）の地上デジタルテレビ放送の基本的な操作について説明します。

1



[SRC] を押します。

2



[地デジ]にタッチします。

映像と音声在地デジに切り替わります。

Complete

≡ note

- 本機の取り付け後、初めて地デジに切り替えたときには、本機の初期設定を行うかんたんセットアップ画面が表示されます。[スタート]を選択して、かんたんセットアップを開始してください。**T03** **C08**
- ナビの現在地図画面で、くるくるボタンで地デジを操作することもできます。



放送局名などは画面に表示されません。

- サウンド切替ボタンで、画面はナビのまま、音声のみを地デジに切り替えることもできます。



- 本機と対応ナビを専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合は、本機の電源は対応ナビの電源と連動してオン/オフされます。リモコンの[POWER]キーは動作しません。
- 本機を対応ナビ以外の機器等に付属のAVケーブルで接続している場合は **T03** をご覧ください。

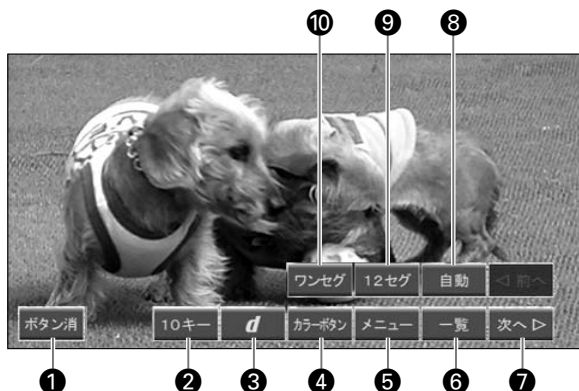
地デジ操作ボタンで操作する



各種の操作を行う地デジ操作ボタンについて、簡単に説明します。

Before
Step

画面の中央部にタッチする



- ① **ボタン消**
地デジ操作ボタンの表示を消します。
- ② **10キー**
テンキーを表示します。テンキーでチャンネル番号を指定して選局します。☞ T11
リモコンでは、[10キー入力]キーが対応します。
- ③ **d**
データ放送画面に切り替えます。☞ T18
リモコンでは、[d]キーが対応します。
- ④ **カラーボタン**
データ放送の視聴時に、番組からの指示に応じて使用します。☞ T19
- ⑤ **メニュー**
地デジメニューを表示します。☞ S01
- ⑥ **一覧**
プリセットの一覧を表示します。
プリセット一覧で選局することもできます。
☞ T07
- ⑦ **次へ**
地デジ操作ボタンを次ページに切り替えます。
- ⑧ **自動**
受信モードを自動受信モードに切り替えます。
☞ T16
リモコンでは、[自動]キーが対応します。
なお、自動受信モードでの動作については S14 をご覧ください。
- ⑨ **12セグ**
12セグモードでの受信に切り替えます。
☞ T16
12セグモードでは、ワンセグモードよりもきれいな画面でご覧いただけます。
リモコンでは、[12Seg]キーが対応します。
- ⑩ **ワンセグ**
ワンセグモードでの受信に切り替えます。
☞ T16
ワンセグモードでは、12セグモードよりも広い範囲で安定した画面でご覧いただけます。
リモコンでは、[1Seg]キーが対応します。

≡ note

- 地デジ操作ボタンは、本機と対応ナビを専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合のみ表示されます。
- 本機と対応ナビ以外の機器等を付属のAVケーブルで接続している場合には、地デジ操作ボタンは表示されません。すべての機能はリモコンで操作します。



① ボタン消

地デジ操作ボタンの表示を消します。

② 映像

同じチャンネルで複数の映像が放送されているときに、表示する映像を切り替えます。☞ T15
リモコンでは、[映像切替]キーが対応します。

③ 音声

出力する音声を設定します。☞ T15
リモコンでは、[音声切替]キーが対応します。

④ 字幕

画面に表示する字幕を設定します。☞ T15
リモコンでは、[字幕切替]キーが対応します。

⑤ 番組表

番組表を表示します。☞ T08
リモコンでは、[番組表/詳細]キーが対応します。

⑥ 詳細

番組詳細情報を表示します。☞ T10
リモコンでは、[番組表/詳細]キーを1秒以上押すことが対応します。

⑦ 表示

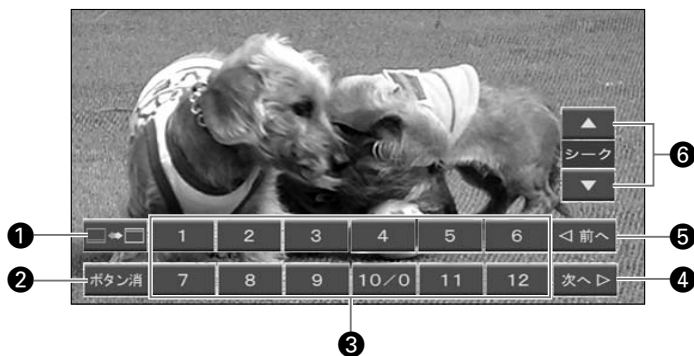
バナー表示/チャンネル表示をオン/オフします。
☞ T13
リモコンでは、[表示切替]キーが対応します。

⑧ < 前へ

地デジ操作ボタンを前ページに切り替えます。

≡ note

- [映像]にタッチするたびに、放送されている映像が順に切り替わります。この機能は複数の映像が放送されているときのみ動作します。1つのチャンネルで複数の映像が放送されているときには、バナーに☐または☐が表示されます。
- [音声]にタッチするたびに、スピーカーに出力する音声(主音声/副音声、ステレオ/モノラルなど)が順に切り替わります。この機能は、複数の音声が放送されているときのみ動作します。1つのチャンネルで複数の音声が放送されているときには、バナーに☐が表示されます。☞ T15
- [字幕]にタッチするたびに、画面に表示される字幕が切り替わります。ただし、字幕の表示位置や大きさは設定できません。なお、字幕が放送されていない場合は、表示する字幕の設定のみが切り替わります。☞ T15
- バナーの表示方法を設定することもできます。☞ S06



① 地デジ操作ボタンの表示位置(上/下)を切り替えます。



② 地デジ操作ボタンの表示を消します。



③ **1** ~ **12** (プリセットボタン)
プリセットボタンに割り当てられている放送局を選局します。
リモコンでは、数字キーが対応します。



④ 地デジ操作ボタンを次ページに切り替えます。



⑤ 地デジ操作ボタンを前ページに切り替えます。



⑥ 上のチャンネルまたは下のチャンネルを選局します。
リモコンでは、 キー (長押し) が対応します。

≡ note

- プリセットボタンによる選局では、1つのチャンネルで複数の番組が放送されているときには、3桁のチャンネル番号のもっとも小さい番組が受信されます。
- シークボタンによる選局では、プリセットされていない放送局も選局できます。

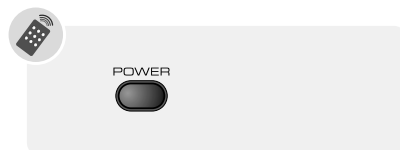
リモコン操作で地デジを観る



本機をケンウッド製ナビゲーションシステムHDV-990またはHDV-790以外のナビやAV機器（以降、「対応ナビ以外の機器等」）と付属のAVケーブルで接続している場合（[P08](#) **I07**）の地上デジタルテレビ放送の基本的な操作について説明します。

1

リモコンの[POWER]キーを押します。



本機の電源がオンになります。

2

ソースをAV入力に切り替えます。

Complete

≡ note

- ソースをAV入力に切り替える方法については、お使いの機器の取扱説明書などをご覧ください。
- リモコンの[POWER]キーを押してから映像が映るまでに5秒以上かかる場合があります。
- もう一度リモコンの[POWER]キーを押すと、本機の電源がオフになります。
- 取り付け後、初めてACCをオンにしたときには、本機の電源が自動的にオンになり、初期設定を行うかんたんセットアップ画面が表示されます。[スタート]を選択して、かんたんセットアップを開始してください。（[P08](#) **C08**）
- 本機と対応ナビを専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合は、リモコンの[POWER]キーは動作しません。本機の電源は、対応ナビの電源と連動してオン/オフされます。
- 本機と対応ナビと専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合は [T01](#) をご覧ください。



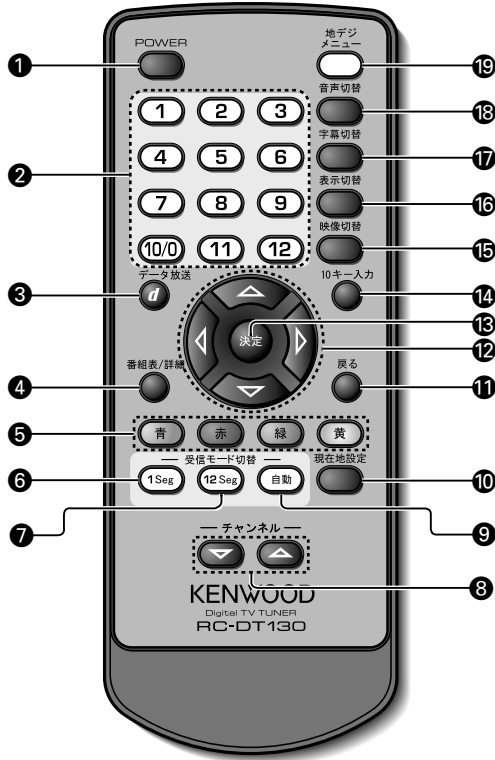
C
共通

T
観る

S
設定

I
取付

A
付録



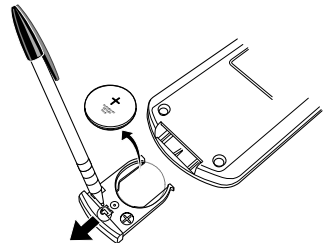
リモコンの電池を入れ替えるときは

リモコンが反応しなくなったときは、新しい電池に交換してください。
リモコンには、ボタン電池 (CR2025) を使用しています。

1. リモコンの裏側のくぼみにペン先などで差し込んで、スライドをリモコンから引き出します。
2. 新しい電池と入れ換えます。
3. 突き当たるまで、スライドを差し込みます。

≡ caution

- 電池の向きを正しく入れてください。



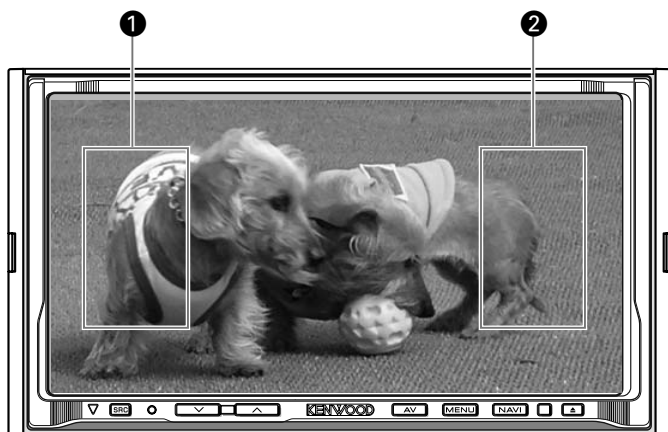
- 1 POWER (電源)**
電源をオン/オフします。☞ T03
- 2 数字キー**
プリセット番号を指定します。☞ T06
[10キー入力]キーに続いて押すと、3桁のチャンネル番号を指定します。☞ T11
- 3 d (データ放送)**
データ放送画面を表示します。☞ T18
- 4 番組表/詳細**
番組表を表示します。☞ T08
1秒間以上押すと、番組詳細画面を表示します。
☞ T10
- 5 カラーボタン**
データ放送で画面を操作するときなどに使用します。☞ T19
- 6 1Seg (ワンセグ)**
ワンセグモードで受信します。☞ T16
ワンセグがサービスされていない場合は選択できません。
- 7 12Seg (12セグ)**
12セグモードで受信します。☞ T16
12セグがサービスされていない場合は選択できません。
- 8 チャンネル**
プリセット番号の順にチャンネルをアップ/ダウンします。☞ T05
1秒以上押すと、チャンネル番号の順にシークアップ/シークダウンします。☞ T12
- 9 自動**
受信状況に応じて、ワンセグモードと12セグモードを自動的に切り替えます。☞ T16
ワンセグがサービスされていない場合は12セグで固定されます。
- 10 現在地設定**
現在地の設定を変更します。☞ S02
- 11 戻る**
ひとつ前の画面へ戻ります。
- 12 カーソル(十字)キー**
上下左右の項目を選択します。
- 13 決定**
画面で選択している項目を決定します。
- 14 10キー入力**
数字キーを3桁のチャンネル番号の入力に使用します。☞ T11
- 15 映像切替**
数種類の映像が同時に放送されている番組の映像を切り替えます。☞ T15
- 16 表示切替**
受信情報の表示(バー表示、チャンネル表示、表示なし)を切り替えます。☞ T13
- 17 字幕切替**
字幕表示を切り替えます。☞ T15
- 18 音声切替**
出力する音声を切り替えます。☞ T15
- 19 地デジメニュー**
地デジメニュー画面を表示します。☞ S01

≡ note

- 本機と対応ナビを専用の接続ケーブルKNA-130DTC (別売品)で接続している場合は、リモコンの[POWER]キーは動作しません。本機の電源は、対応ナビの電源と連動してオン/オフされます。






プリセット番号順に選局する

プリセットされているチャンネルを、プリセット番号の順に選局します。



- 1 プリセットダウン**
すぐ下のプリセット番号のチャンネルを選局します。
リモコンでは、キーが対応します。
- 2 プリセットアップ**
すぐ上のプリセット番号のチャンネルを選局します。
リモコンでは、キーが対応します。

≡ note

- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセットボタンで選局(タッチ/リモコン)  **T06**
 - プリセット一覧で選局(タッチ)  **T07**
 - 番組表で選局(タッチ/リモコン)  **T08**
 - 3桁のチャンネル番号で選局(タッチ/リモコン)  **T11**
 - チャンネル番号順に選局(タッチ/リモコン)  **T12**

プリセットボタンで選局する

プリセットされているチャンネルを、プリセットボタンで選局します。

Before
Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



1 ~ **12** にタッチして、プリセット番号を指定します。



指定したプリセット番号のチャンネルに切り替わります。

Complete

≡ note

- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセット番号順に選局(タッチ/リモコン) **T05**
 - プリセット一覧で選局(タッチ) **T07**
 - 番組表で選局(タッチ/リモコン) **T08**
 - 3桁のチャンネル番号で選局(タッチ/リモコン) **T11**
 - チャンネル番号順に選局(タッチ/リモコン) **T12**
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

C
共
通

T
観
る

S
設
定

I
取
付

A
付
録

プリセット一覧で選局する



プリセットされている放送局の一覧を表示して、ダイレクトに選局します。

C Before Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

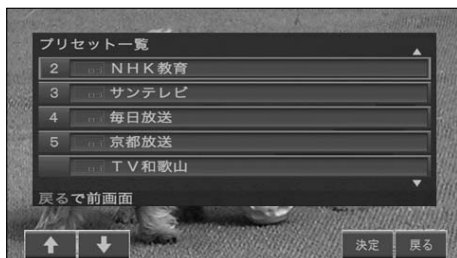
1



【一覧】にタッチします。

T 観る

2



目的の放送局のボタンにタッチします。

選択した放送局に切り替わります。

S 設定

I 取付

Complete

A 付録

≡ note

- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセット番号順に選局(タッチ/リモコン) **T05**
 - プリセットボタンで選局(タッチ/リモコン) **T06**
 - 番組表で選局(タッチ/リモコン) **T08**
 - 3桁のチャンネル番号で選局(タッチ/リモコン) **T11**
 - チャンネル番号順に選局(タッチ/リモコン) **T12**

番組表で選局する

番組名を見ながら選局します。

Before
Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

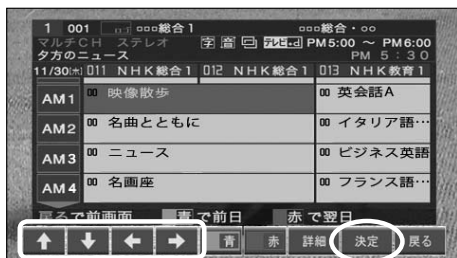
1



[番組表]にタッチします。



2

↑ ↓ ← → で番組を選択し、
[決定]にタッチします。選択した番組のチャンネルに切り替わりま
す。

Complete

≡ note

- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセット番号順に選局(タッチ/リモコン) **T05**
 - プリセットボタンで選局(タッチ/リモコン) **T06**
 - プリセット一覧で選局(タッチ) **T07**
 - 3桁のチャンネル番号で選局(タッチ/リモコン) **T11**
 - チャンネル番号順に選局(タッチ/リモコン) **T12**
- まだ放送開始時刻になっていない番組を選択しても、チャンネルは切り替わります。
番組表の詳細については **T09** をご覧ください。
- データを受信するために、番組表を表示するのに時間がかかる場合があります。番組表示データの受信中には、背景の画像(番組の画像)が表示されない場合があります。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

C
共通T
観
るS
設
定I
取
付A
付
録

番組表を操作する

他局や他の時間帯の番組表を表示します。

Before
Step

T08 (番組表を表示する)



① バナー T14

② 番組表の日付

③ 時間帯

④

上の番組を選択します。
また、番組表を上スクロールします。ただし、現在の時刻以前へはスクロールできません。
リモコンでは、 が対応します。

⑤

下の番組を選択します。
また、番組表を下スクロールします。
リモコンでは、 が対応します。

⑥

他局の番組を選択します。
また、番組表を左右にスクロールします。
リモコンでは、 が対応します。

⑦

前日の同時刻の番組表を表示します。
リモコンでは、[青]キーが対応します。

⑧

翌日の同時刻の番組表を表示します。
リモコンでは、[赤]キーが対応します。

⑨

選択している番組の詳細情報を表示します。
 T10

リモコンでは、[番組表/詳細]キーを1秒以上押すことが対応します。

⑩

選択している番組のチャンネルに切り替えます。
リモコンでは、[決定]キーが対応します。

⑪

番組表を消します。
リモコンでは、[戻る]キーが対応します。

≡ note

- ④～⑥は、本機と対応ナビを専用の接続ケーブルKNA-130DTC (別売品)で接続している場合のみ表示されます。
- 番組表で番組情報が未受信の部分は空欄になります。その欄を選択して[決定]を選択すると、番組情報の受信が開始されます。

現在の番組の詳細情報を表示する

現在受信中の番組の詳細情報を表示します。

Before
Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

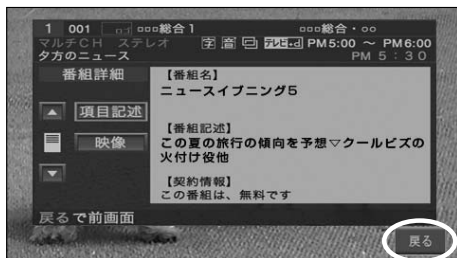
1



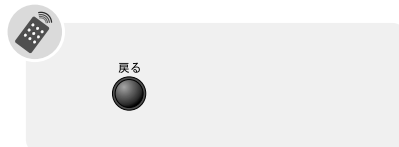
[詳細]にタッチします。



2



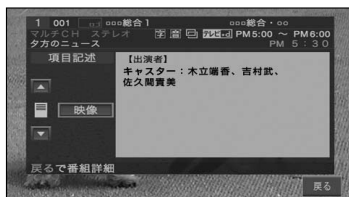
詳細情報を見終わったら、[戻る]にタッチします。



Complete

≡ note

- 番組表画面が表示されているときには、地デジ操作ボタンの[詳細]にタッチすると、手順2の番組詳細画面を表示できます。リモコンでは[番組表/詳細]キーを1秒間以上押し、手順2の番組詳細画面を表示できます。
- 手順2の番組詳細画面で[項目記述]にタッチすると、番組の内容等の追加情報が表示されます。



この画面では、▼または▲にタッチすると、情報表示をスクロールできます。
[映像]にタッチすると、詳細情報を表示している番組の映像が表示されます。

- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示する必要はありません。

C
共通T
観
るS
設
定I
取
付A
付
録

3桁のチャンネル番号で選局する

3桁のチャンネル番号をテンキーで指定して選局します。

C Before Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

共通

T 観る

1



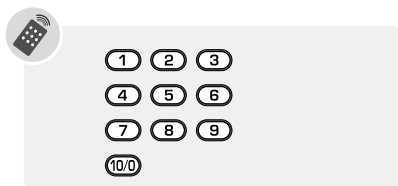
[10キー]にタッチします。



2



1 から 0 にタッチして、3桁のチャンネル番号を指定します。



指定したチャンネルに切り替わります。

S 設定

I 取付

Complete

A 付録

≡ note

- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセット番号順に選局(タッチ/リモコン) **T05**
 - プリセットボタンで選局(タッチ/リモコン) **T06**
 - プリセット一覧で選局(タッチ) **T07**
 - 番組表で選局(タッチ/リモコン) **T08**
 - チャンネル番号順に選局(タッチ/リモコン) **T12**
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

チャンネル順に選局する

物理チャンネル順に受信できる放送局を探しながら選局します。

Before
Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



▲ または ▼ にタッチします。



— チャンネル —
▼ ▲ (長押し)

受信できたチャンネルに切り替わります。

Complete

≡ note

- この方法では、プリセットされていない放送局も選局できます。
- 上記の方法以外に、次の5つの方法でも選局できます。
 - プリセット番号順に選局 (タッチ/リモコン) **T05**
 - プリセットボタンで選局 (タッチ/リモコン) **T06**
 - プリセット一覧で選局 (タッチ) **T07**
 - 番組表で選局 (タッチ/リモコン) **T08**
 - 3桁のチャンネル番号で選局 (タッチ/リモコン) **T11**
- 物理チャンネルについては、**A06** をご覧ください。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

バナー表示やチャンネル表示をオン/オフする

バナー表示/チャンネル表示をオン/オフします。

Before Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[表示]にタッチします。



バナー表示/チャンネル表示が切り替わります。

Complete

バナーの表示方法の設定状態により、上記の操作を行うたびに、バナー表示/チャンネル表示は次のように切り替わります。

設定状態	説明
大 (ch名、番組名)	表示オフ → バナー表示 → チャンネル表示 → 表示オフ ただし、バナー表示状態で5秒間何も操作しないと、チャンネル表示に自動的に変わります。
小 (ch番号、ロゴ)	表示オフ → チャンネル表示 → 表示オフ
表示しない	バナー表示 → チャンネル表示 → 表示オフ → バナー表示 ただし、バナー表示状態で5秒間何も操作しないと、表示は自動的に消えます。

≡ note

- バナー表示およびチャンネル表示については T14 をご覧ください。
- バナー表示およびチャンネル表示の設定については S06 をご覧ください。
- リモコンでバナー表示やチャンネル表示をオフにしても、番組の変わり目などで「チャンネル表示」に戻ります。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

バナー表示とチャンネル表示

バナーに表示される情報について説明します。

バナー表示



チャンネル表示



- ❶ プリセット番号
- ❷ 3桁のチャンネル番号
同じチャンネル番号に複数のサービスがある場合には、4桁目に番号が追加されます。
- ❸ チャンネルのロゴ
- ❹ チャンネル名
- ❺ 放送事業者名
- ❻ 放送時間
- ❼ 現在の時刻
- ❽ 放送の種類
放送の種類が次のマークで表示されます。
 - テレビ : テレビ放送
 - テレビ/d : 番組とは連動していないデータ放送があります。T18
 - テレビ+d : 番組と連動したデータ放送があります。T18
 - データ : 独立型データ放送 T18
- ❾ サービス
字幕および複数映像/音声があるときに次のマークで表示されます。
 - 字 : 字幕サービスがあります。T15
 - 音 : 複数音声があります。T15
 - 映/音 : 複数映像/音声があります。T15
- ❿ 放送の種類
放送の種類が次のマークで表示されます。
 - 番組連動データ放送
 - 音声多重放送
 - ワイド放送
 - 2ヶ国語放送
 - 字幕放送
 - 圧縮Bモードステレオ音声
 - サラウンドステレオ放送
 - 再放送
 - ステレオ放送
 - 音声解説
 - 吹き替え
 - マルチビューテレビ放送
 - 劇映画
- ⓫ 番組名
- ⓬ 音声の種類
現在出力されている音声の種類が表示されます。

≡ note

- バナー表示/チャンネル表示の設定については S06 をご覧ください。

映像、音声、字幕を切り替える

受信しているチャンネルの映像、音声、字幕を切り替えます。

C Before
共通 Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[映像]、[音声]、または[字幕]にタッチします。






Complete

S 設定

I 取付

A 付録

≡ note

- [映像]にタッチするたびに、放送されている映像が順に切り替わります。この機能は、複数の映像が放送されているときのみ動作します。1つのチャンネルで複数の映像が放送されているときには、バナーにまたはが表示されます。
- [音声]にタッチするたびに、スピーカーに出力する音声(主音声/副音声、ステレオ/モノラルなど)が順に切り替わります。この機能は、複数の音声が発送されているときのみ動作します。1つのチャンネルで複数の音声が発送されているときには、バナーにが表示されます。
- [字幕]にタッチするたびに、画面に表示される字幕が切り替わります。ただし、字幕の表示位置や大きさは設定できません。なお、字幕が発送されていない場合は、表示する字幕の設定のみが切り替わります。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

受信モードを切り替える

受信を手動で切り替えます。

Before
Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[ワンセグ]、[12セグ]、または[自動]にタッチします。



Complete

≡ note

- お買い上げ時の状態では、自動受信モードに設定されています。
- 自動受信モードでの動作および設定については **S14** をご覧ください。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

C
共通

T
観る

S
設定

I
取付

A
付録

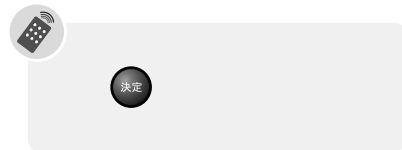
番組の続きを観る

番組が予定時刻に終わらない場合、他のチャンネルで番組の続きが放送される場合があります。このような場合、ワンタッチで続きのチャンネルを選局できます（リレーサービス）。

1



[選局する]にタッチします。



続きが放送されるチャンネルに切り替わりません。

Complete

データ放送を観る

データ放送は、パナーに**テレD/d**(番組非連動型データ放送)、**テレD+d**(番組連動型データ放送)、または**テレD**(独立型データ放送)が表示されているときに観ることができます。

Before Step

T05 T06 T07 T08 T11 T12
(データ放送のあるチャンネルを受信する)

1



[d]にタッチします。



データ放送画面が表示されます。

2

必要な操作をします。

詳しくは、**T19** をご覧ください。

3

データ放送画面を見終わったら、地デジ操作ボタンを表示して、[d]にタッチします。



元の画面に戻ります。

Complete

≡ note

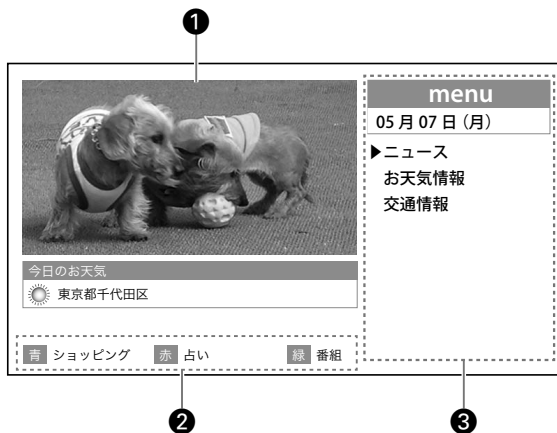
- データ放送は12セグモードでのみ受信できます。
- データ放送画面上の項目の操作に必要なボタンは、タッチ操作時には、地デジ操作ボタンの[カラーボタン]にタッチすると表示されます。**T19**
- 放送電波からデータを取得している間は「データ取得中」と表示されます。「dボタンを押してください」と表示される番組もあります。
- 受信時に「dボタンを押してください」と表示される番組では、[d]にタッチすると自動的にデータ放送のチャンネルに変わります。このとき、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面上の項目を選んだときに別のチャンネルに変わる場合があります。このとき、チャンネル番号が変わる場合があります。
- 地デジ操作ボタンの[d]にタッチしなくても自動的にデータ放送画面が表示される場合もあります。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示しておく必要はありません。

データ放送画面で操作する

データ放送画面での操作によって、表示する情報を選択できます。

Before
Step

T18 (データ放送画面を表示する)

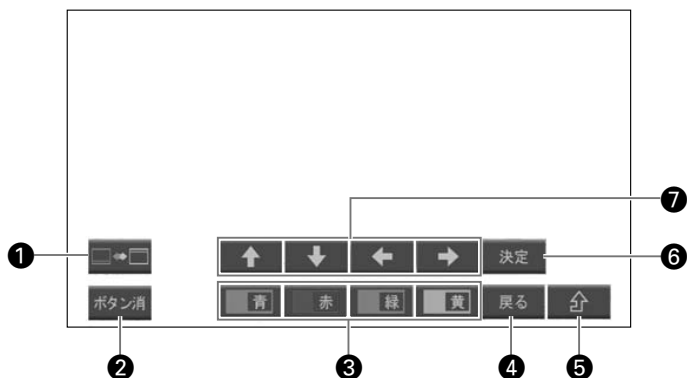










- ① 番組の映像
- ② カラーボタンでの選択項目
- ③ 矢印ボタンと決定ボタンでの選択項目

≡ note

- 上記のデータ放送画面は一例です。実際の画面は、放送局や番組によって異なります。

タッチ操作では、データ放送画面での操作に使用するボタンは、画面の中央をタッチした後に[カラーボタン]にタッチすると表示されます。



- ①  地デジ操作ボタンの表示位置(上下)を切り替えます。
- ②  ボタン消
地デジ操作ボタンの表示を消します。
- ③  青 赤 緑 黄
データ放送画面に表示された各色のカラーボタンに対応します。
リモコンでは、[青]～[黄]のキーが対応します。
- ④  戻る
前の画面に戻ります。
リモコンでは、[戻る]キーが対応します。
- ⑤ 
1階層上の地デジ操作ボタン([d]があります)を表示します。
- ⑥  決定
選択した項目の画面を表示します。
リモコンでは、[決定]キーが対応します。
- ⑦  上 下 左 右
項目を選択します。
リモコンでは、 が対応します。

緊急放送を受信すると

緊急放送は、災害などの発生をいち早く知らせるシステムです。

C

共通

緊急放送が始まると



緊急放送を受信すると、メッセージが表示された後、緊急放送のチャンネルに自動的に切り替わります。

T

観る

緊急放送が終了すると

緊急放送が終了すると、メッセージが表示された後、元のチャンネルに自動的に切り替わります。

S

設定

I

取付

A

付録

≡ note

- 緊急放送は、地域別に異なることがあります。今いる場所で適切に緊急放送を受信できるようにするために、必ず現在地を設定しておいてください。📍 **S02**
- 本機と対応ナビを専用の接続ケーブルKNA-130DTC（別売品）で接続している場合で、ナビの画面が表示されているときには、緊急放送を受信すると割り込み画面で通知されます。ソースを地デジに切り替えて、緊急放送を見てください。

地デジメニュー

各種の設定や操作を行う地デジメニューを表示します。

Before
Step

T02 (地デジ操作ボタンを表示する)

1



[メニュー]にタッチします。



Complete

地デジメニュー画面に表示される項目は次のとおりです。

項目	説明	
現在地設定	現在地を設定します。	S02
番組関連	番組表を表示したり、番組を選択します。	S03 ~ S04
ユーザー設定	画面の表示方法などを設定します。	S05 ~ S12
システム設定	本機の動作を設定します。	S13 ~ S21

≡ note

- 地デジメニューの各画面では、[戻る]にタッチすると、前の画面に戻ります。リモコンでは、[戻る]キーで前の画面に戻れます。
- 地デジメニューの各画面でリモコンの[地デジメニュー]キーを押すと、地デジメニューの画面を閉じて、放送画面に戻れます。
- リモコンで操作するときには、地デジ操作ボタンをあらかじめ表示する必要はありません。

C
共通

T
観る

S
設定

I
取付

A
付録

現在地を設定する

地上デジタルテレビ放送の放送局をプリセットするために、現在地（都道府県）を設定します。

Before Step

S01 (地デジメニューを表示する)

C 共通

1



地デジメニュー画面で、[現在地設定]にタッチします。



T 観る

2



◀ または ▶ にタッチして、地域を選択します。



S 設定

3



現在地の都道府県のボタンにタッチします。



I 取付

A 付録

現在地が設定され、地デジの受信画面に戻ります。

Complete

≡ note

- リモコンでは、[現在地設定]キーを押すと、手順2の現在地設定画面を表示できます。
- 現在地を変更すると、プリセットには指定した現在地での放送局が設定されます。[A02](#)
- 現在地を変更したあと、実際に受信できる放送局をプリセットする場合は [S16](#) をご覧ください。
- お買い上げ時の状態では、現在地は「東京都」に設定されています。

番組表などを表示する

現在の時刻以降の番組表などを表示します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

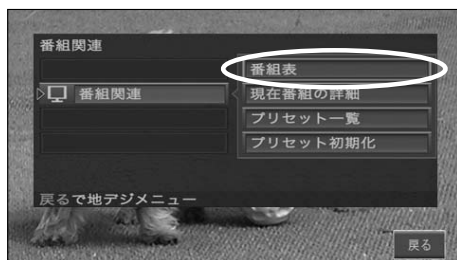
1



地デジメニュー画面で、[番組関連]にタッチします。



2



使用する項目にタッチします。



Complete

各項目での操作は次のとおりです。

項目	説明	
番組表	番組表を表示します。	T08
現在番組の詳細	現在視聴している番組の詳細情報を表示します。	T10
プリセット一覧	現在設定されているプリセットの一覧を表示します。	T07
プリセット初期化	プリセット設定を初期化します。	S04

≡ note

- 地デジ操作ボタンの[番組表]にタッチしても、番組表画面を表示できません。033 T02
リモコンでは、[番組表/詳細]キーを押すと、番組表画面を表示できます。
- 番組表をスクロールしたり、チャンネルを切り替えることもできます。033 T09
- データを受信するために、番組表を表示するのに時間がかかる場合があります。番組表示データの受信中には、背景の画像(番組の画面)が表示されない場合があります。

プリセットされている放送局のリストを初期化する

プリセットボタンに割り当てられている放送局のリストを初期化します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

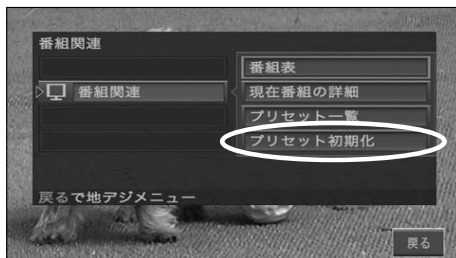
1



地デジメニュー画面で、[番組関連]にタッチします。



2



[プリセット初期化]にタッチします。



3



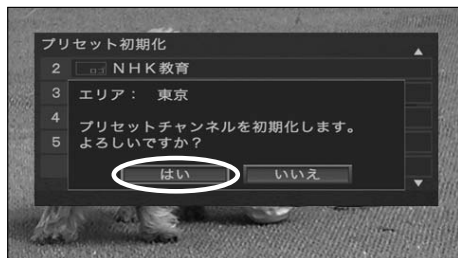
[決定]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

Next Page

4



[[はい]]にタッチします。



すべてのプリセットボタンへの放送局の割り当てが初期状態に戻されます。

Complete

C
共通T
観
るS
設
定I
取
付A
付
録

≡ note

- プリセットボタンへの割り当てを初期化すると、設定されている現在地でのデフォルト状態になります。03P A02

データ放送を利用する地域を設定する

データ放送の情報(たとえば、天気予報、イベント情報、選挙情報など)が地域ごとに違うときに、表示する情報の地域を郵便番号で設定します。

C Before
共通 Step

S01 (地デジメニューを表示する)

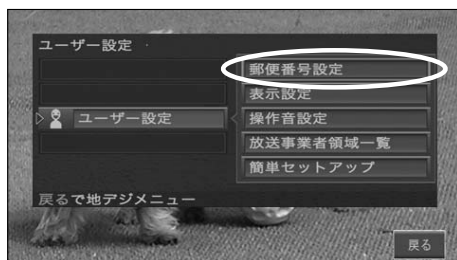
1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



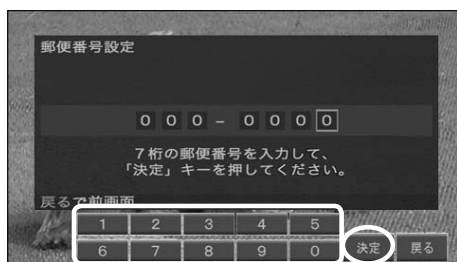
2



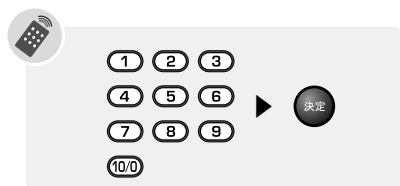
[郵便番号設定]にタッチします。



3



1 ~ 0 にタッチして7桁の郵便番号を入力し、[決定]にタッチします。

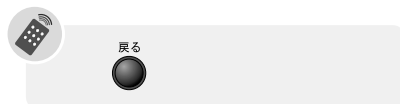


データ放送の受信地域が設定され、ユーザーメニュー画面に戻ります。

Next Page

4

[戻る]にタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

C
共通

T
観
る

S
設
定

I
取
付

A
付
録

≡ note

- 本項での設定は、設定されている現所在地以外の地域のデータ放送を受信する場合には、設定する必要はありません。
- 上記の操作では、現所在地の設定やプリセットボタンへの放送局の割り当ては変更されません。

バナー表示を設定する

番組が変わったときなどに自動的に表示されるバナーの表示方法(大/小/表示しない)を設定します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

C
共通

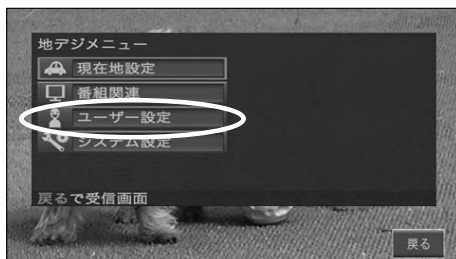
T
観る

S
設定

I
取付

A
付録

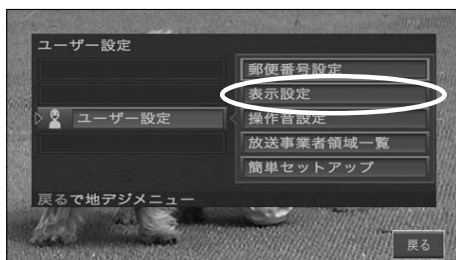
1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



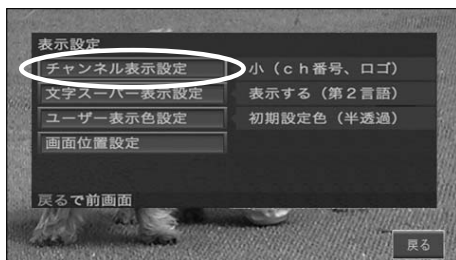
2



[表示設定]にタッチします。



3



[チャンネル表示設定]にタッチします。



Next Page

4



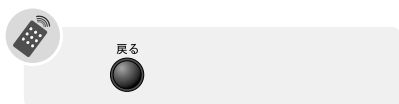
目的の表示サイズのボタンにタッチします。



表示設定メニュー画面に戻ります。

5

[戻る]に何回かタッチします。




地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

上記の操作を行うたびに、バナー表示/チャンネル表示は次のように切り替わります。

ボタン	説明
大 (ch名、番組名)	5秒間バナー表示された後、チャンネル表示に変わります (表示され続けます)。
小 (ch番号、ロゴ)	チャンネル表示が表示され続けます。
表示しない	5秒間バナー表示された後、表示は自動的に消えます。

note

- バナーは、地デジ操作ボタンの[表示]にタッチすると表示できます。リモコンでは[表示切替]キーが対応します。
- 必要に応じて、手でバナーまたはチャンネル表示を表示できます。 T13
- お買い上げ時の状態では、「大 (ch名、番組名)」に設定されています。

文字スーパーの表示方法を設定する

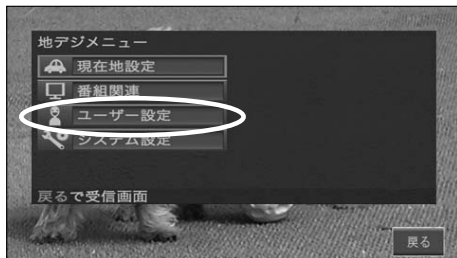
臨時ニュースなどの受信告知の表示方法(第1言語/第2言語/表示しない)を設定します。

Before
Step

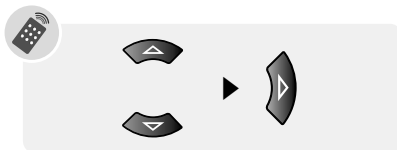
S01 (地デジメニューを表示する)

C
共通

1

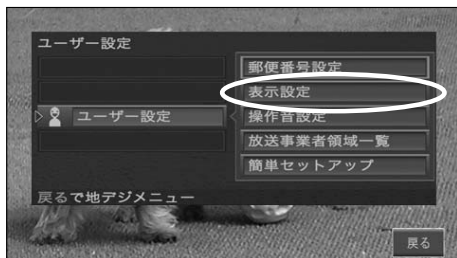


地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



T
観る

2

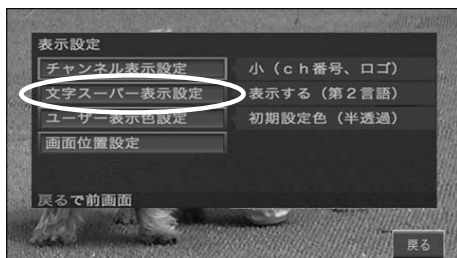


[表示設定]にタッチします。



S
設定

3



[文字スーパー表示設定]にタッチします。

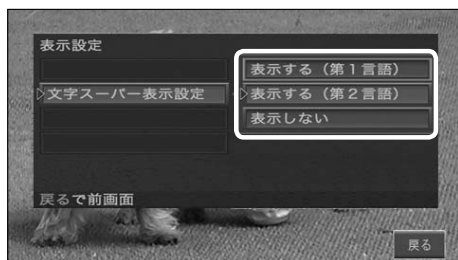


I
取付

A
付録

Next Page

4



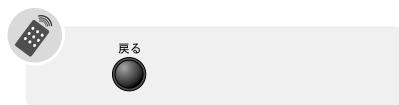
表示方法のボタンにタッチします。



表示設定メニュー画面に戻ります。

5


[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ note

- この機能は、12セグで有効です。
- この機能の対象は、番組の字幕とは無関係です。番組の字幕の設定は、地デジ操作ボタンの[字幕]で行います。 T02
リモコンでは、[字幕切替]キーが対応します。
- お買い上げ時の状態では、「表示する(第1言語)」に設定されています。

ユーザー画面の表示方法を設定する

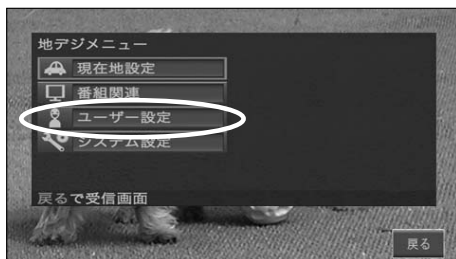
メニュー画面などの表示方法 (透過/不透過) を設定します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

C
共通T
観るS
設定I
取付A
付録

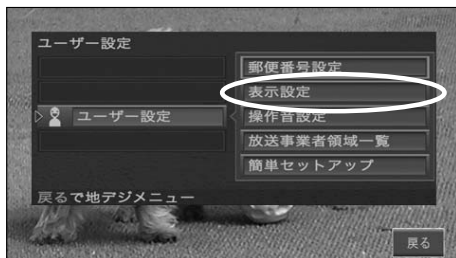
1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



2



[表示設定]にタッチします。



3



[ユーザー表示色設定]にタッチします。



Next Page

4



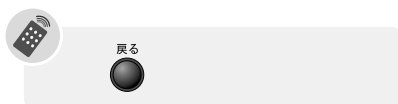
目的の表示方法のボタンにタッチします。



表示設定メニュー画面に戻ります。

5

[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

C
共通T
観
るS
設
定I
取
付A
付
録

画面の位置を調整する

画面の位置を調整します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

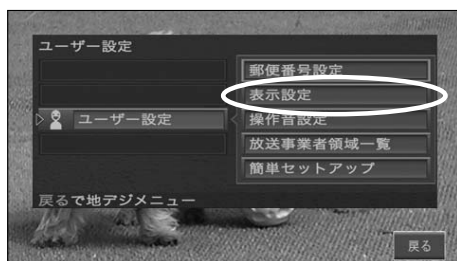
1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



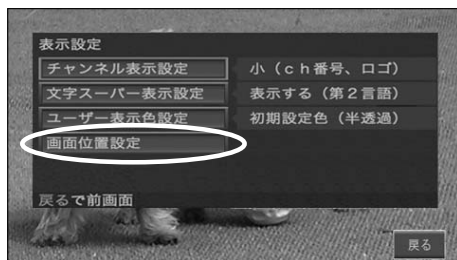
2



[表示設定]にタッチします。



3

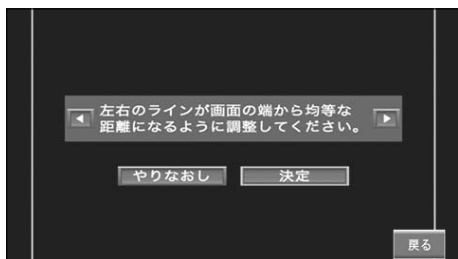


[画面位置設定]にタッチします。



Next Page

4



◀ または ▶ にタッチして、画面の位置を調整します。



表示設定メニュー画面に戻ります。

5

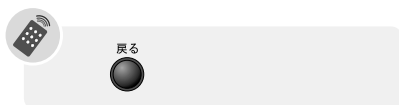
[決定]にタッチします。



表示設定メニュー画面に戻ります。

6



[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 手順5で、[やりなおし]にタッチすると、調整をやりなおせます。
- リモコンでは、で[やりなおし]を選択してを押します。

C
共通T
観
るS
設
定I
取
付A
付
録

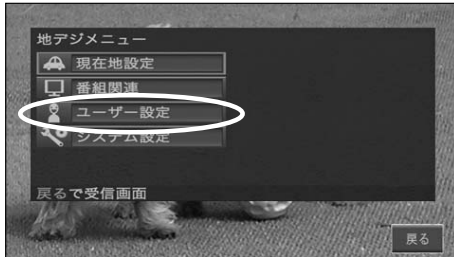
操作時のビープ音を設定する

本機の操作時のビープ音(オン/オフ)を設定します。

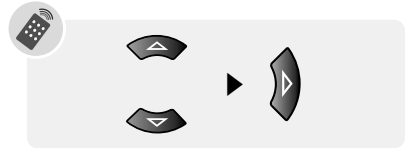
Before Step

S01 (地デジメニューを表示する)

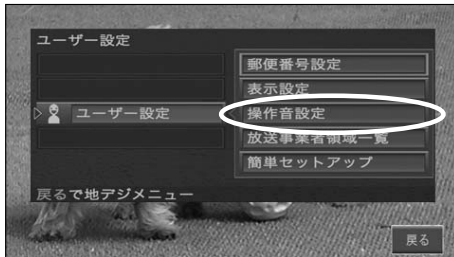
1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



2



[操作音設定]にタッチします。



3



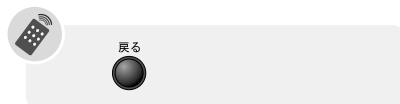
[ON]または[OFF]にタッチします。



Next Page

4

[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

C
共通

T
観
る

S
設
定

I
取
付

A
付
録

≡ note

- 本機の操作音のオン/オフはここでのみ設定でき、ナビ側での操作音のオン/オフの設定は影響しません。
- データ放送受信時のビープ音は放送局から送出されているもので、オン/オフできません。

放送事業者領域を表示/削除する

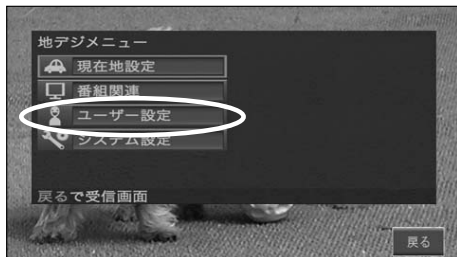
異なる地域で何度もチャンネルスキャンをしたり、データ放送を受信すると、得られた情報は本機のメモリに記憶されます。メッセージが表示されたときには、放送事業者領域を削除します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

C
共通

1

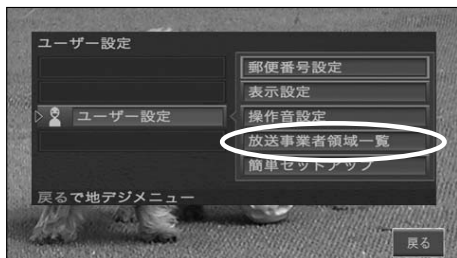


地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



T
観る

2



[放送事業者領域一覧]にタッチします。



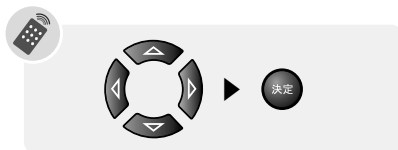
S
設定

I
取付

3



↑ ↓ ← → にタッチして、削除する放送事業者を選択します。



A
付録

Next Page

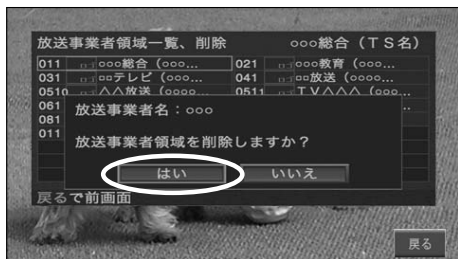
4



[決定]にタッチします。



5

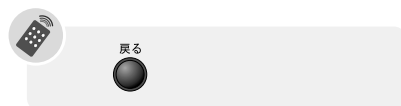


[はい]にタッチします。



6

[戻る]にタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 本機のメモリがいっぱいになったときには「放送事業者の領域が確保できません。メニューでいずれかの事業者領域を削除してください。」というメッセージが表示されます。

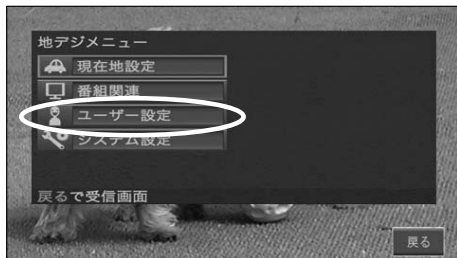
セットアップしなす

現在地やプリセットを設定しなす。

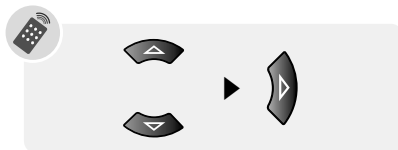
Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

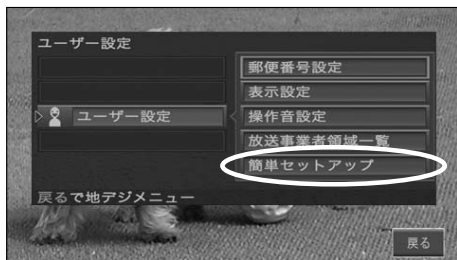
1



地デジメニュー画面で、[ユーザー設定]にタッチします。



2



[簡単セットアップ]にタッチします。



3

以降の手順は起動ウィザードと同じです。

詳しくは、**C08** をご覧ください。

Complete

受信できるチャンネルを確認する

物理チャンネルの受信レベルを確認します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

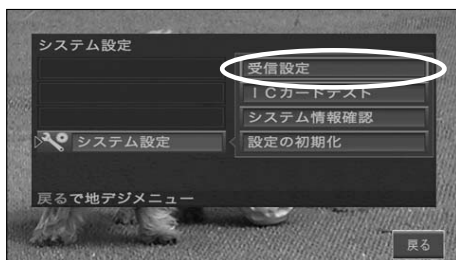
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



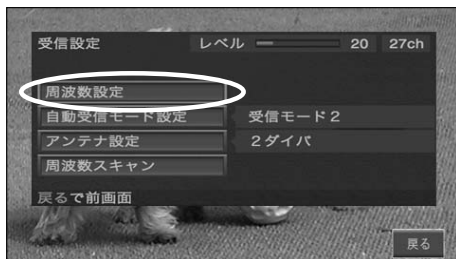
2



[受信設定]にタッチします。



3



[周波数設定]にタッチします。



Next Page

C
共通

T
観る

S
設定

I
取付

A
付録

受信できるチャンネルを確認する

C
共通

4



↑ または ↓ にタッチして、確認するチャンネルを指定します。

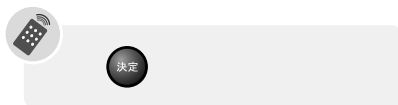


受信可能なチャンネルでは、対応する周波数が表示されます。

T
観る

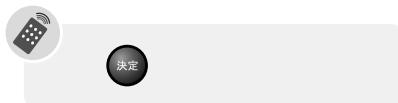
5

[決定]にタッチします。

S
設定

6

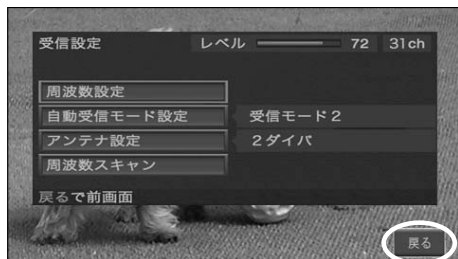
[決定]にタッチします。



受信設定画面に戻ります。

I
取付

7



[戻る]にタッチします。



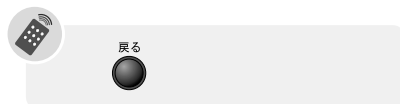
システム設定画面に戻ります。

A
付録

Next Page

8

[戻る]にタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

C
共通

T
観
る

S
設
定

I
取
付

A
付
録

≡ note

- 手順3の受信設定画面には、現在視聴しているチャンネルとレベル（電波の強さ）が表示されます。また、手順7の受信設定画面には、手順4で指定したチャンネルのレベルが表示されます。
- 物理チャンネルについては、**A06** をご覧ください。

自動受信モードの動作を設定する

自動受信モード(受信モード1/受信モード2)の動作を設定します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

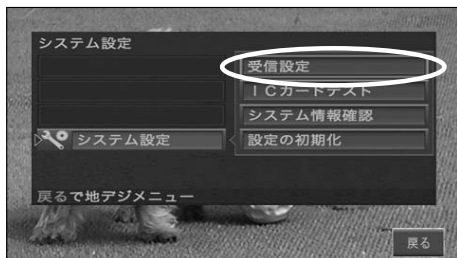
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



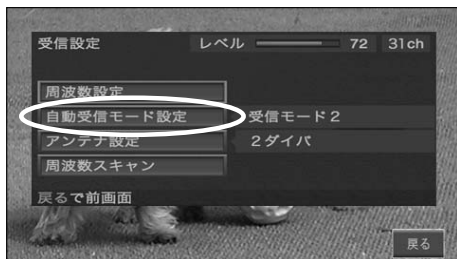
2



[受信設定]にタッチします。



3



[自動受信モード設定]にタッチします。



Next Page

4

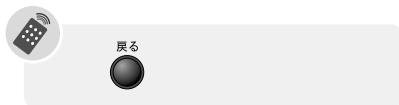


設定する受信モードのボタンにタッチします。



5

[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

設定できる受信モードは次のとおりです。

設定状態	説明
受信モード1	可能な限り12セグを受信します。 12セグの受信状態が非常に悪いときのみワンセグ受信に切り替え、12セグの受信状態が回復したら12セグ受信に切り替えます。 画質の良い放送を楽しめます。
受信モード2	12セグとワンセグの切替回数をなるべく少なくします。 安定的に放送を楽しめます。

≡ note

- ここで設定する受信モードは、受信モードを「自動」に切り替えた (153) T16) ときの動作です。
- お買い上げ時の状態では、「受信モード1」に設定されています。

アンテナを設定する

接続しているアンテナ数(ダイバシティのチャンネル数)を設定します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

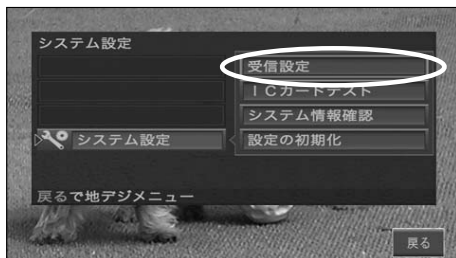
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



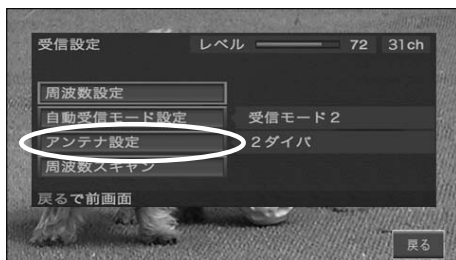
2



[受信設定]にタッチします。



3



[アンテナ設定]にタッチします。



Next Page

4

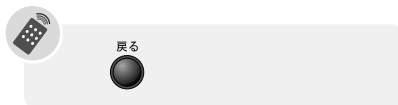


接続されているアンテナ数のボタンにタッチします。



5

[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 専用アンテナCX-DT55（別売品）を接続している場合のみ、設定を変更してください。それ以外の場合には、この設定を変更しないでください。
- 「2ダイバ」に設定されているときは、本機のアンテナ接続端子のMAIN側のみが有効となります。
- お買い上げ時の状態では、「2ダイバ」に設定されています。

現在地で受信できる放送局をプリセットする

現在地で受信できる地デジ放送局をスキャンし、プリセットに割り当てます。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

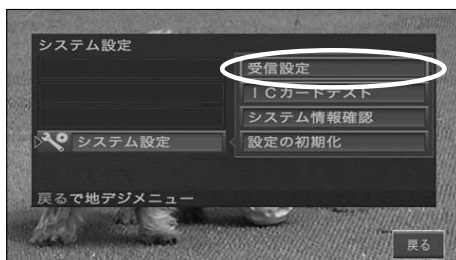
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



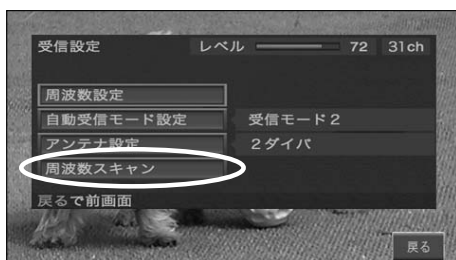
2



[受信設定]にタッチします。



3

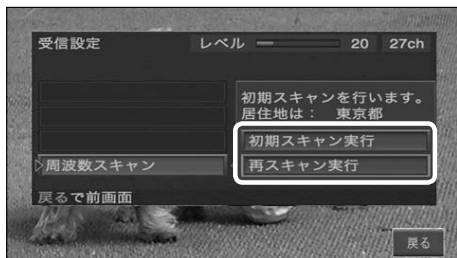


[周波数スキャン]にタッチします。



Next Page

4



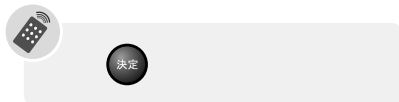
[初期スキャン実行]または[再スキャン実行]にタッチします。



スキャンが開始されます。

5

[決定]にタッチします。



地デジの画面に戻ります。

Complete

実行できるスキャン方式は次のとおりです。

項目	説明
初期スキャン実行	すべてのチャンネルをスキャンします。 それまでプリセットに割り当てられていたチャンネルをすべてクリアし、受信できたチャンネルをプリセットに新たに割り当てます。
再スキャン実行	すべてのチャンネルをスキャンします。 それまでプリセットに割り当てられていたチャンネルはそのまま、受信できたチャンネルをプリセットに追加して割り当てます。

note

- 初期スキャンを実行すると、スキャン実行前のプリセットへのチャンネル割り当てはクリアされます。クリアしたくないときは再スキャンを実行してください。

B-CASカードをテストする

B-CASカード(ICカード)をテストします。
また、B-CASカードの情報を表示します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

C
共通

1

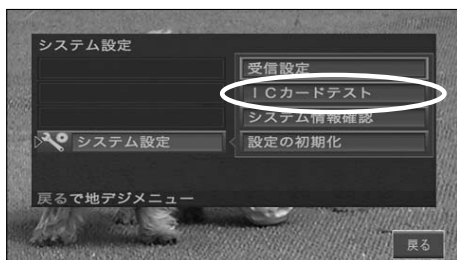


地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



T
観る

2

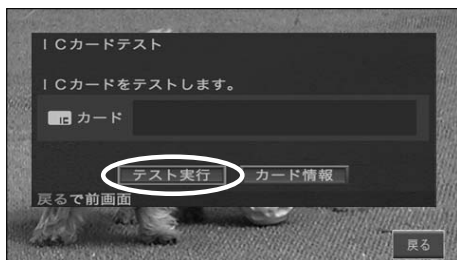


[ICカードテスト]にタッチします。



S
設定

3



[テスト実行]にタッチします。



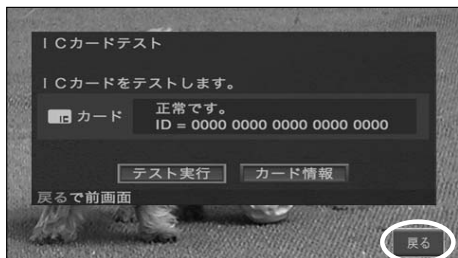
B-CASカードのテストが開始されます。
終了すると、テスト結果が表示されます。

I
取付

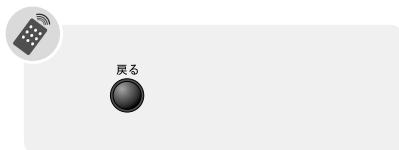
A
付録

Next Page

4



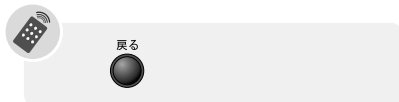
結果を確認し、[戻る]にタッチします。



システム設定画面に戻ります。

5

[戻る]にタッチします。

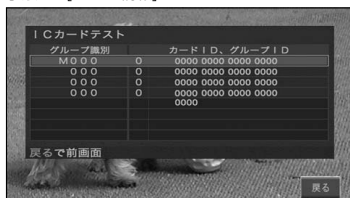


地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 本操作は、B-CASカードの抜き差ししたときに実行して、カードが正しいことを確認してください。
- 本操作は、B-CASカードの抜き差し後、約3秒以上経過してから実行してください。
- 手順3で[カード情報]にタッチすると、B-CASカードに書き込まれている情報が表示されます。



放送局からの情報を見る

放送局からのお知らせ(メール)を見ることができます。

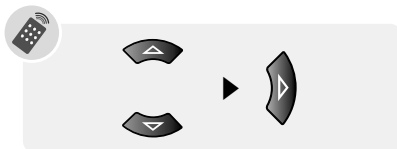
Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

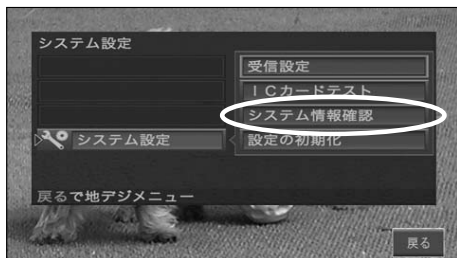
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



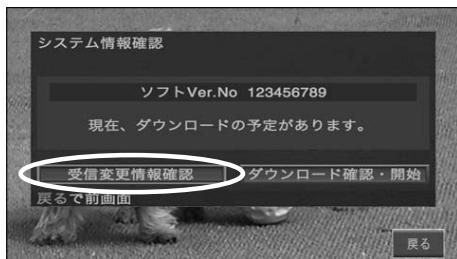
2



[システム情報確認]にタッチします。



3

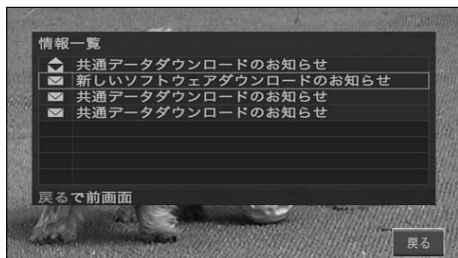


[受信変更情報確認]にタッチします。



Next Page

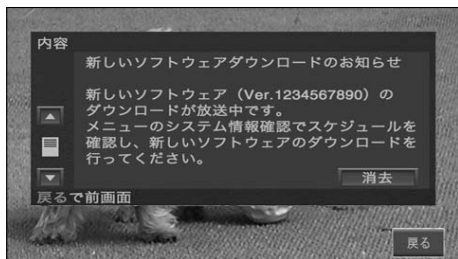
4



タッチして確認するメールを選択します。



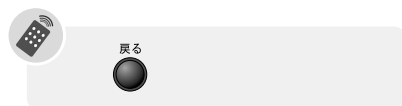
5



内容を確認します。

6

[戻る]に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 手順5の画面で、メールの内容が画面に表示しきれていない場合は、▼または▲にタッチしてスクロールさせることができます。リモコンでは、☰または☷でスクロールできます。
- 本機に保存できるメールは7件までです。8件目以降は、古いものから順に上書きされます。
- 手順5の画面で、[消去]にタッチすると、表示されているメールを削除できます。

ソフトウェアをバージョンアップする

本機内のデータやソフトウェアをバージョンアップします。

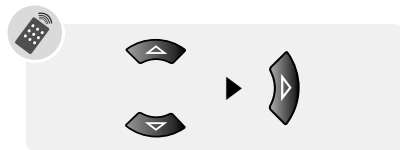
Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

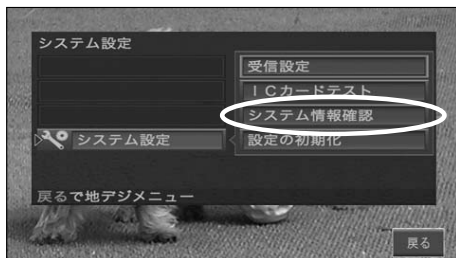
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



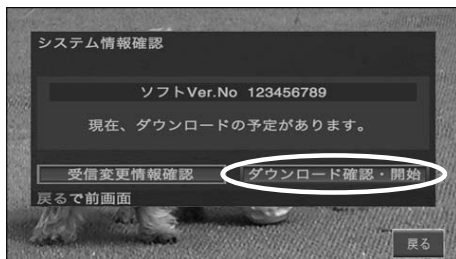
2



[システム情報確認]にタッチします。



3

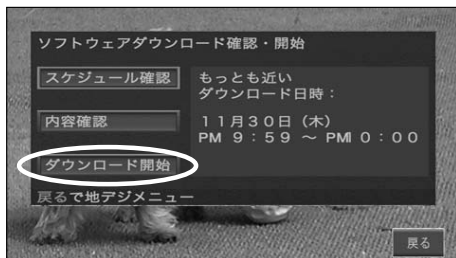


[ダウンロード確認・開始]にタッチします。



Next Page

4

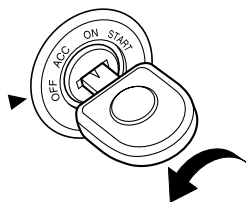


[ダウンロード開始]にタッチします。



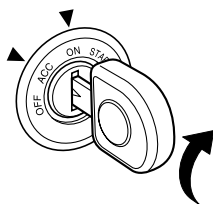
ダウンロードが開始されます。
終了すると、メッセージが表示されます。

5



ダウンロードが終了したら、イグニッションスイッチをオフにします。

6



イグニッションスイッチをオンにします。

ダウンロードしたデータによって、本機がバージョンアップされます。

Complete

≡ caution

- 本操作は、エンジンを停止する必要があります。受信状態が良く、安全な場所に駐車して操作を開始してください。
- ダウンロード完了のメッセージが表示されるまで、他の操作を一切行わないでください。

≡ note

- 手順4の画面で、[スケジュール確認]にタッチすると、ダウンロードスケジュールを表示できます。
- 手順4の画面で、[内容確認]にタッチすると、最も新しいダウンロードの内容を表示できます。

設定を初期化する

本機の設定を初期化します。

Before
Step

S01 (地デジメニューを表示する)

C
共通

1

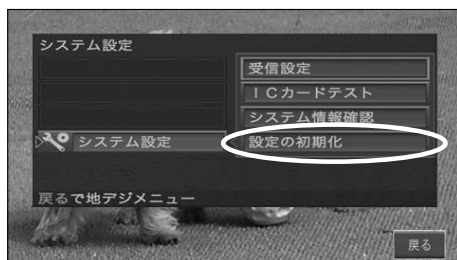


地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



T
観る

2

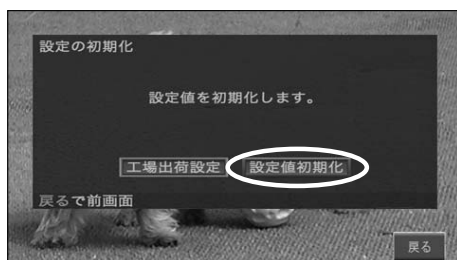


[設定の初期化]にタッチします。



S
設定

3



[設定値初期化]にタッチします。



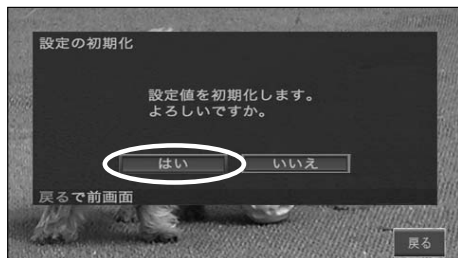
I
取付

A
付録

確認の画面が表示されます。

Next Page

4



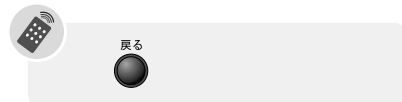
【はい】にタッチします。



設定が初期状態に戻されます。
初期化が完了すると、メッセージが表示されます。

5

【戻る】に何回かタッチします。



地デジメニュー画面に戻ります。

Complete

≡ caution

- 初期化完了のメッセージが表示されるまで、他の操作を一切行わないでください。

≡ note

- 初期化される設定は次のとおりです。
 - 郵便番号設定(ユーザー設定) S05
 - 表示設定(ユーザー設定) S08
 - 操作音設定(ユーザー設定) S10
 - 自動受信モード設定(システム設定-受信設定) S14
 - アンテナ設定(システム設定-受信設定) S15

お買い上げ時の状態に戻す

本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

Before Step

S01 (地デジメニューを表示する)

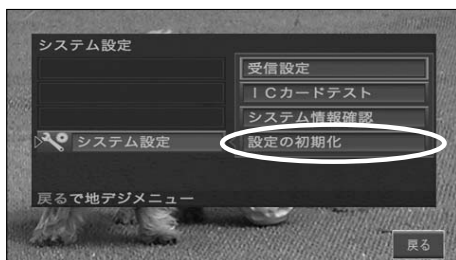
1



地デジメニュー画面で、[システム設定]にタッチします。



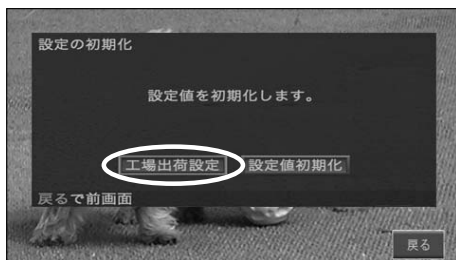
2



[設定の初期化]にタッチします。



3



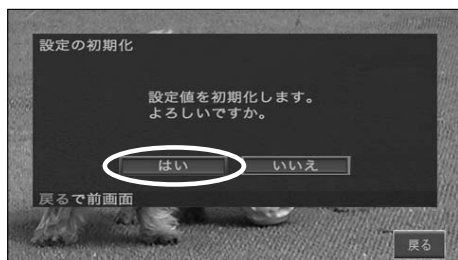
[工場出荷設定]にタッチします。



確認の画面が表示されます。

Next Page

4

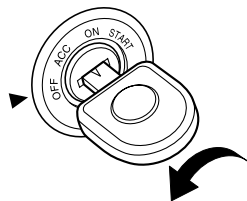


【はい】にタッチします。



設定が初期状態に戻されます。
初期化が完了すると、メッセージが表示されます。

5



イグニッションスイッチをオフにします。

Complete

≡ caution

- 本操作は、エンジンを停止する必要があります。安全な場所に駐車して操作を開始してください。

≡ note

- 次回、本機の電源をオンにしたときには、お買い上げ後に初めて本機の電源をオンにしたときと同様に、かんたんセットアップの画面が表示されます。
かんたんセットアップからやり直してください。☞ C08

安全上のご注意

01

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

⚠ 警告



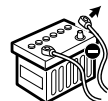
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品または指定されている別売品をご使用ください。正しい取付用部品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



実施

バッテリー電源(黄)を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量(5A)以上あることを確認してください。また、本機の他にモニターなどを接続する場合は、車両側電源のヒューズ容量は、それらの総ヒューズ容量以上必要です。

車両側電源のヒューズ容量が不足する場合は、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



⚠ 警告



注意

カーペットを切ったり車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ・ヘッドランプ・ウィンカー・ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

本製品または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一（異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど）異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず「お買い上げの販売店」にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず「お買い上げの販売店」にご依頼ください。

⚠ 注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため「お買い上げの販売店」にご依頼ください。



禁止

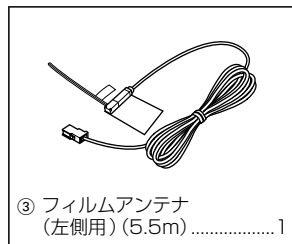
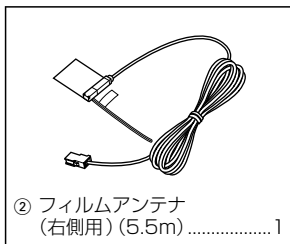
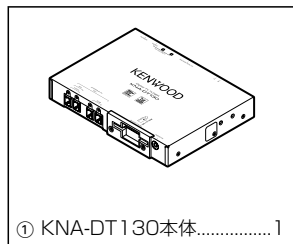
本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

取付部品一覧

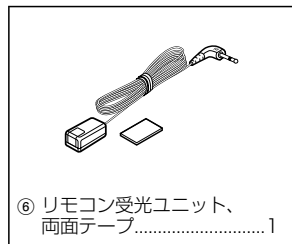
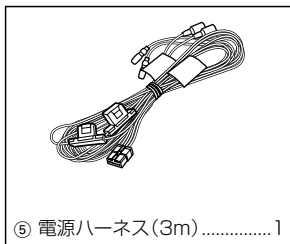
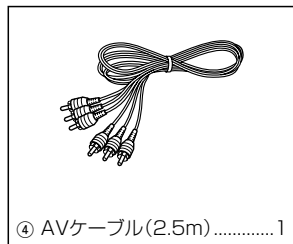
02

取り付け作業を始める前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。

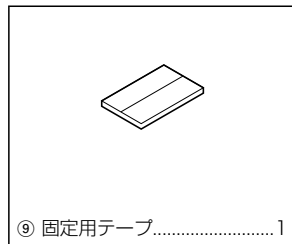
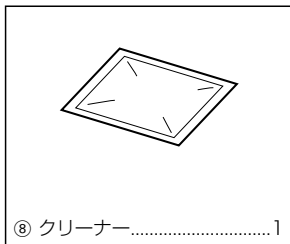
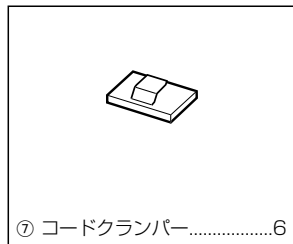
C
共通



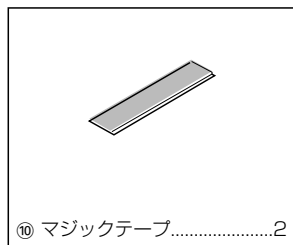
T
観る



S
設定



I
取付



A
付録

取付作業の留意点

- 次のような場所には取り付けしないでください。
 - ✓ 直射日光やエアコンの送風が当たる場所、水のかかる場所、高湿になる場所
 - ✓ しっかりと固定できない場所
 - ✓ グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- 本体は所定の場所に取り付けてください。
通気性の悪い場所やカーペットなどの下などに取り付けると、内部の湿度が高くなり故障や誤動作の原因となります。
- 取り付け作業が終了するまで本体の電源を入れないでください。

取付手順の流れ

1. 本機を安全に取り付けるために、「101 安全上のご注意」をお読みください。
2. ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの⊖端子を外します。
3. フィルムアンテナを取り付けます。
4. リモコン受光部を取り付けます。
5. 電源ハーネス⑥のアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
6. 電源ハーネス⑥のコネクターとリモコン受光部のケーブルを本体に接続します。
7. 本体を車両に取り付けます。
8. バッテリーの⊖端子を接続します。

≡ caution

- 付属品または別売品の専用アンテナ以外は使用しないでください。機器の故障の原因になる場合があります。

KNA-DT130本体の取り付け

04

KNA-DT130 (以下「本体」) を取り付けます。

C
共通

本体の取り付け位置について

- 本体には各種接続端子があります。本体の接続端子側には、ケーブルを接続するためのスペースを確保しておいてください。
- 本体の上に物を置かないようにしてください。本機の故障の原因となります。
- 本体は、他のユニット類と重ねて設置しないでください。
- 本体は、無線機のアンテナから1.5m以上離れた位置に取り付けてください。

T
観る

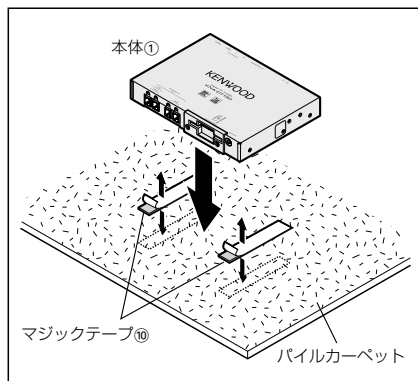
取り付け手順

1. マジックテープ[®]のはくり紙をはがし、本体の底面に貼ります。
2. マジックテープ面を下にして本体をパイルカーペット等に押し付け、固定します。

≡ note

- 激しい振動のある場所を走行する可能性のある場合は、市販のトラスネジ (M4×8mm、本体用) とL字金具 (板厚1.6mm) を使って取り付けてください。

S
設定



I
取付

A
付録

取り付け上のご注意

- このフィルムアンテナは車室内専用です。
- 下記の位置には取り付けしないでください。
 - ✓ 車検標章などと重なる位置
 - ✓ 運転者の視界を妨げる位置
 - ✓ エアバックや保安部品の動作の妨げとなる位置
 - ✓ リアハッチなど可動するガラス面
- 下記の場合は受信感度が低下します。
 - ✓ 熱線反射ガラスやミラー調ガラスフィルムの貼ってある場所
 - ✓ 純正ラジオなどのアンテナ（パターン）に重なる場所
 - ✓ ウィンドウの熱線と重なる場所
 - ✓ 車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）
 - ✓ リアウィンドウなど
 - ✓ 電波を通さないガラス（熱線反射ガラスや断熱ガラスなど）を使用している場合
- フィルムアンテナ②③の取り付け位置を十分に確認してから作業を行ってください。
フィルムアンテナは貼りなおすことができません。
- 貼り付け面の油分や汚れを付属のクリーナー④できれいに拭き取ってください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けないでください。
- 貼り付け面の温度を、暖房をかけるなどして高くしてから作業を行ってください。
- 車種により取り付けられない場合があります。
- フロントピラーにフロントエアバックを搭載している車には取り付けられません。
- フィルムアンテナおよびアンプ部は、ケーブルの引き直しなどを確認してから貼り付けてください。

≡ note

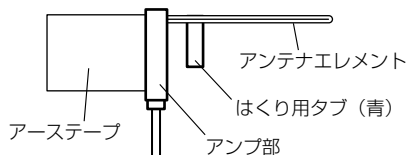
- ワイパーを動かした際やエアコン、モニターなどから出るノイズにより、受信感度が低くなる場合があります。
- 車両（アンテナ）の方向と放送局の位置関係により受信状態が悪くなる場合があります。
- フィルムアンテナには、左側用と右側用があります。左側用と右側用を間違えないように正しく取り付けてください。

接続のしかた

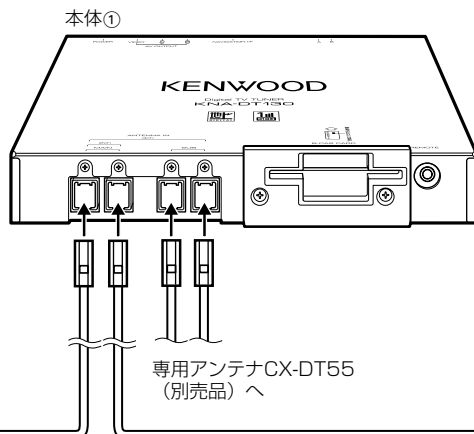
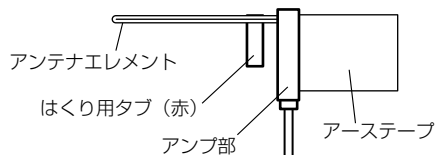


ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの⊖端子を外してください。

フィルムアンテナ (左側用)
(5.5m) ③



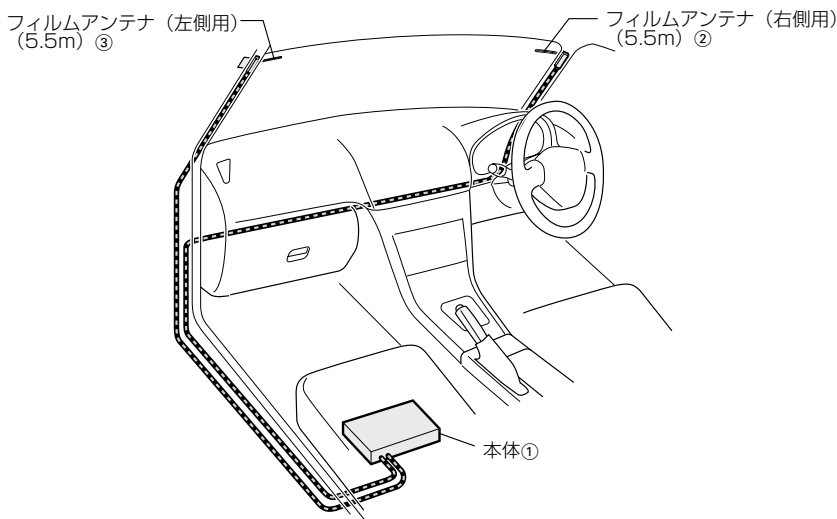
フィルムアンテナ (右側用)
(5.5m) ②



≡ note

- 付属のフィルムアンテナ②③は、必ずMAIN端子に接続してください。

取り付け例



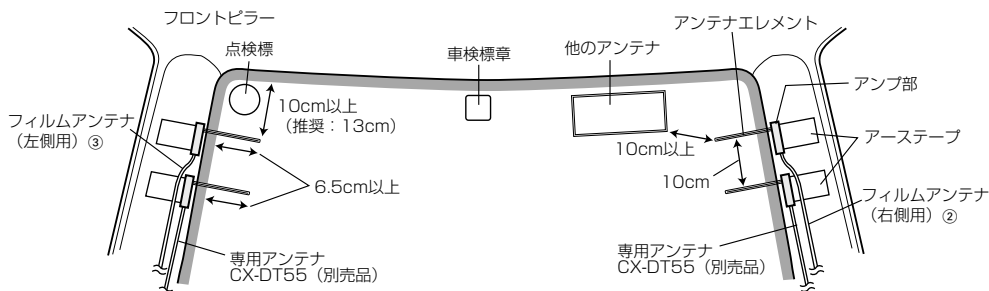
コードクランパー⑦を使用して、アンテナケーブルをピラー部分で数か所固定します。

≡ note

- アンテナケーブルは、安全のため、助手席側に配線することをお薦めします。

取り付け時の注意

- フィルムアンテナ②③には右側用と左側用があります。右側用/左側用を間違えないように正しく取り付けてください。
- アンテナエレメントは、フロントガラス上端のセラミックライン (黒い部分) や他のアンテナから10cm以上 (推奨: 13cm) 離してください。
また、フロントガラス側端のセラミックラインよりも内側に6.5cm以上確保できるように貼り付けてください。
- 専用アンテナCX-DT55 (別売品) を取り付ける場合は、付属のフィルムアンテナから10cm離してください。



- アンブ部は、フロントピラーの金属部でフロントガラスに最も近い場所に貼り付けてください。
この際、広くて平らな場所にアンブ部全面が金属部分に接触するように貼り付けてください。

フィルムアンテナの取り付け

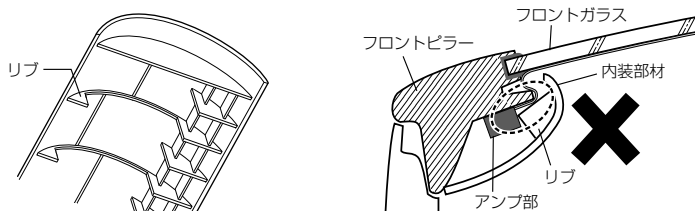
共通

- アンテナのアンブ部をフロントピラーに貼り付けるとき、次の場所は避けてください。

ー 穴や角があって、アンブ部の接着面全体で接着できない場所



ー 内装部材 (フロントピラーカバー) の内側にあるリブなどがアンブ部やアンテナエレメントと干渉する場所



観る

設定

- アンブ部をピラー内に貼り付けることができない場合は、フロントガラスに貼り付けることができます。この場合は、ガラス周縁のセラミックライン (黒い部分) には貼り付けしないでください。十分な接着力が得られません。

≡ caution

- アンブ部をガラス面に貼り付ける場合は、セラミックラインの線から2.5cm以内に貼り付けてください。この範囲をはみ出して貼り付けた場合、保安基準に適合しなくなります。

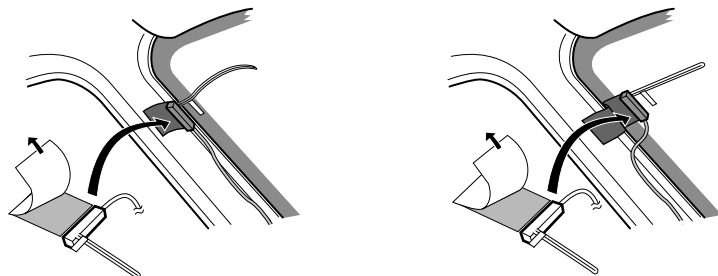
取り付け方法

取付

1. 取り付け位置を確認します。
「取り付け時の注意」(87~88ページ)に記載されているような場所を避けて取り付け位置を決めます。実際にアンテナを当てて確認してください。
2. アーステープをフロントピラーまたはフロントガラスに貼れる長さに切ります。
アンブ部より最低2.5cmは残してください。
3. アンブ部とアーステープを貼り付ける部分の汚れを、付属のクリーナー⑧できれいに拭き取ります。
金属面の塗装は、はがす必要はありません。
4. アンブ部とアーステープのはがし紙をはがし、フロントピラーまたはフロントガラスに貼り付けます。

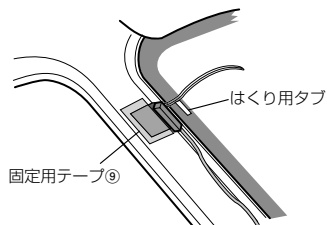
〈アンブ部をピラー内に貼る場合〉

〈アンブ部をフロントガラスに貼る場合〉



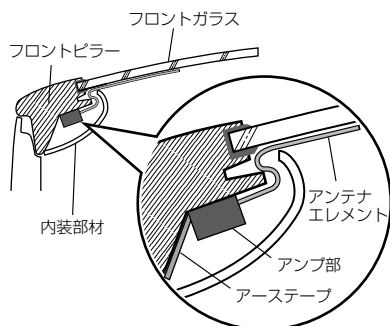
5. アーステープの上から固定用テープ⑨を貼ります。

〈アンブ部をピラー内に貼る場合の例〉

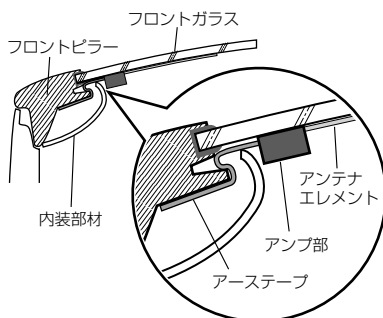


6. アンテナエレメントの貼り付け位置周辺の汚れを、付属のクリーナー⑧できれいに拭き取ります。
7. アンテナエレメントの貼り付け位置周辺に、中性洗剤を加えた水（水500mlに対して中性洗剤を2滴程度）を十分に塗ります。
8. はくり用タブをつまんではくり紙をはがし、アンテナエレメントをフロントガラスに貼り付けます。この際、内装部材（フロントピラーカバー）がエレメントに干渉しないように、エレメントに十分に余裕をもたせてください。

〈アンブ部をピラー内に貼る場合〉

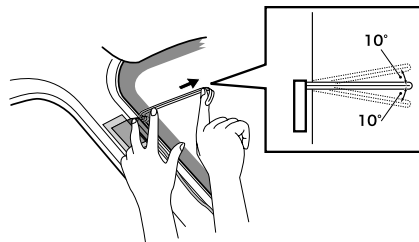


〈アンブ部をフロントガラスに貼る場合〉



9. アンブ側のフィルムアンテナの端を片手で押さえながら、アンテナエレメントを水平に貼ります。アンテナエレメントの角度は、上下10度まで調整できます。アンテナエレメントをフロントガラスの中央部に向かって軽くしごいて、気泡や余分な水を取り除きます。

〈アンブ部をピラー内に貼る場合の例〉



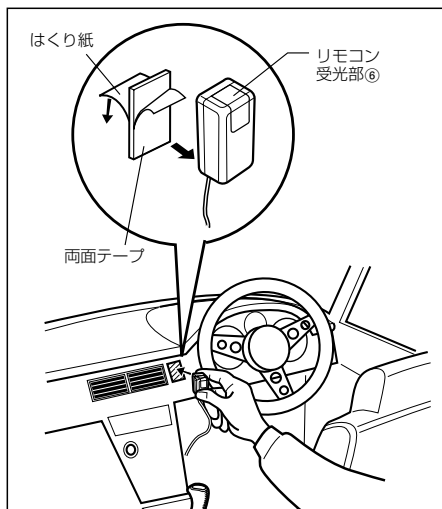
水が乾くまでは、アンテナエレメントを指で軽く押して位置を調整できます。
乾いた後は、動かすことや貼りなおすことはできません。

リモコン受光部の取り付け

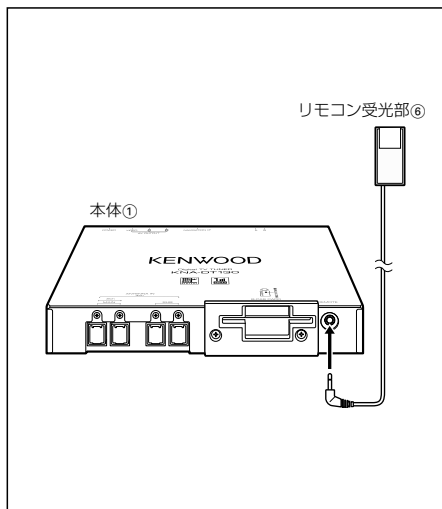
06

リモコン受光部をダッシュボードなどに貼り付けます。

1. 両面テープのはくり紙をはがし、リモコン受光部⑥の背面に貼ります。
2. 取り付ける場所の油污れなどをきれいに拭き取り、リモコン受光部⑥をダッシュボードなどに貼り付けます。



3. リモコン受光部⑥のジャックを本体①に接続します。



C
共通

T
観
る

S
設
定

I
取
付

A
付
録

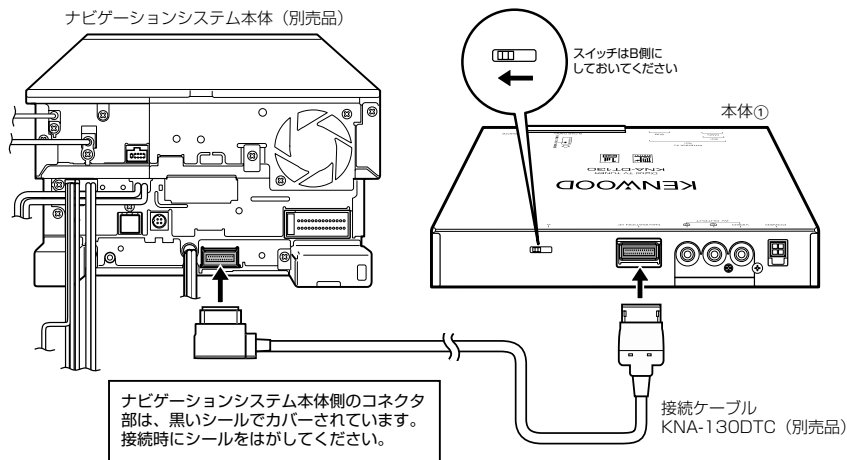
ナビへの接続

07

ナビと本機の接続は下図のとおりです。

接続ケーブルKNA-130DTC (別売品) で接続する場合

ケンウッド製カーナビゲーションシステムHDV-990/HDV-790と専用の接続ケーブルKNA-130DTC (別売品) で接続します。

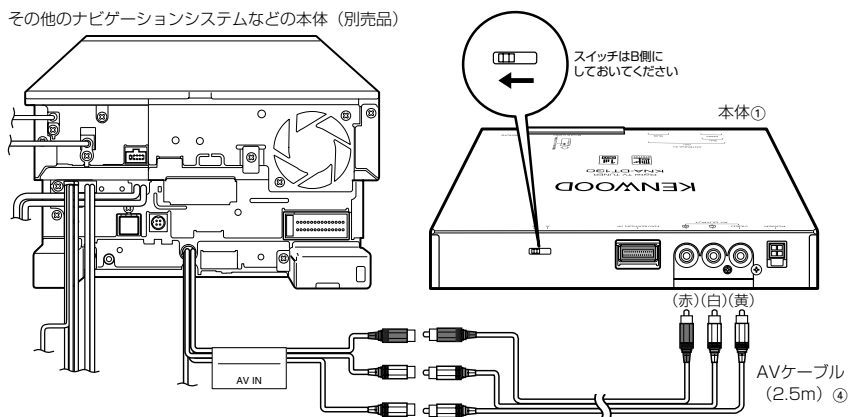


≡ note

- 専用の接続ケーブルKNA-130DTC (別売品) で接続した場合には、HDV-990/HDV-790のプログラムの更新およびTVチューナーの設定が必要です。詳しくは、接続ケーブルKNA-130DTCの取扱説明書をご覧ください。

AVケーブル④で接続する場合

HDV-990/HDV-790以外のカーナビゲーションシステムまたはその他のAV機器と付属のAVケーブル④で接続します。



コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できません。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないでください。

電源の接続

08

1. 電源ハーネス⑥をアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
2. 電源ハーネス⑥のプラグを本体①に接続します。
3. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。



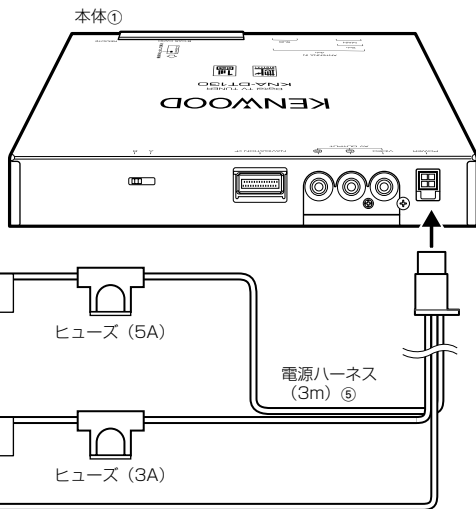
実施

ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの一端子を外してください。



注意

- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 使用しない電源ハーネスのプラグ、拡張端子のキャップは取り外さないでください。



バッテリー電源コード (黄)

エンジンキーのオン/オフに関係なく常に通電している電源へ接続します。

⇒ 図Aの2

アクセサリ電源コード (赤)

エンジンキーをオンにしたときに通電する電源へ接続します。⇒ 図Aの1

アースコード (黒)

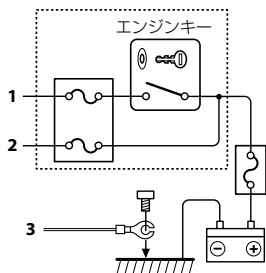
車の金属部分(電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部)へ接続します。⇒ 図Aの3

図A



注意

輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。
解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	対処方法
リモコンが効かない。	リモコンが受光部に向いていない。	リモコンは、リモコン受光部に向けて操作してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。☎ T04
リモコンの[POWER]キーが動作しない。	本機が専用の接続ケーブルKNA-130DTC(別売品)で対応ナビに接続されている。	本機が専用の接続ケーブルKNA-130DTC(別売品)でナビに接続されているときは、リモコンの[POWER]キーは無効です。車のイグニッションスイッチを「ON」または「ACC」にすると、本機の電源は自動的にオンになります。
HDV-990/HDV-790のソース選択画面に[地デジ]のアイコンが表示されない。	専用の接続ケーブルKNA-130DTC(別売品)で適切に接続されていない。	コネクタをいったん抜き、再度接続しなおしてください。
	HDV-990/HDV-790のプログラムが更新されていない。	接続ケーブルKNA-130DTCの取扱説明書を参照しながら、HDV-990/HDV-790のプログラムの更新およびTVチューナーの設定を行ってください。
映像も音声も出ない。	取付方法が不適切。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	ソースが地デジに切り替わっていない。	専用の接続ケーブルKNA-130DTC(別売品)で接続しているときは「地デジ」、付属のAVケーブルで接続しているときは「AV in」に切り替えてください。 ☎ T01 T03
音声は出るが、映像が映らない。	走行中。	走行中は地上デジタルテレビ放送の映像は映りません。安全な場所に駐車してお楽しみください。
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。 ワンセグに切り替えてください。
	ワンセグ/12セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
選局操作していないのに、番組が切り替わる。	移動したので、今まで見ていた番組(放送局)を受信できなくなり、同じ物理チャンネルで放送されている番組(放送局)を受信した。	故障ではありません。
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	かんたんセットアップを行ってください。 ☎ C08 S12
		現在地を設定してください。☎ S02 スキャンしなおしてください。☎ S16
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
	字幕がオフに設定されている。	字幕を表示するように切り替えてください。 ☎ T15

故障かな？と思ったら

C

共通

症状	考えられる原因	対処方法
データ放送画面の表示に時間がかかる。	受信環境やデータの受信状況によっては、データ取得のために、データ放送画面の表示に時間がかかる場合があります。	故障ではありません。
操作音が鳴らない。	操作音がオフに設定されている。	オンに変更してください。 <small>☞</small> S10
ピーブ音がオフにならない。	ピーブ音が放送局から送出されている。	本機側ではオフにはできません。

T

観る

エラーメッセージ

メッセージ	考えられる原因	対処方法
地デジ用のメインアンテナが正しく接続されていません。 エンジンを切り、メインアンテナを正しく接続してください。	付属のフィルムアンテナが正しく接続されていないか、外れている。 アンテナ不良。	お買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
地デジ用アンテナに不良が発生しました。 地デジ放送は視聴できません。 サービスにお問い合わせください。	アンテナが破損している。	お買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
信号が受信できません。 【E202】	信号レベルが低い、または信号がない。	受信状態の良い場所で視聴してください。
ワンセグ放送への切替えはできません。	ワンセグがサービスされていません。	12セグを視聴してください。
12セグ放送への切替えはできません。	12セグがサービスされていません。	ワンセグを視聴してください。
データ表示に失敗しました。 【E402】	信号レベルが低い。	受信状態の良い場所で視聴してください。
臨時サービス用のチャンネルですが放送されていません。	放送時間外。	放送時間を確かめて視聴してください。
B-CASカードが挿入されていません。	B-CASカードがセットされていない。	B-CASカードを正しくセットしなおしてください。 <small>☞</small> C07
B-CASカードが正しく挿入されていることを確認してください。	B-CASカードの向きが間違っている。	
このチャンネルは契約されておりません。 カスタマーセンターへご連絡ください。 コード：A103	B-CASカードに設定されている視聴範囲を越えている。 B-CASカードから必要な情報を読み出せない。	(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへご連絡してください。 0570-000-250
B-CASカードの交換が必要です。 カスタマーセンターへご連絡ください。	その他、B-CASカードで問題が発生した。	
B-CASカードの交換が必要です。 カスタマーセンターへご連絡ください。 コード：6400/6581		
このB-CASカードは使用できません。 カスタマーセンターへご連絡ください。 コード：A102/A1FF		

A

付録

メッセージ	考えられる原因	対処方法
このB-CASカードは使用できません。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：A106/EC01	B-CASカードに設定されている視聴範囲を越えている。 B-CASカードから必要な情報を読み出せない。 その他、B-CASカードで問題が発生した。	(株) ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ カスタマーセ ンターへ連絡してください。 0570-000-250
このB-CASカードではご覧いただけません。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：EC02		
このB-CASカードには必要な情報がありません。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：A103		
現在、エラーが発生しています。 カスタマーセンターへ連絡してください。 コード：A1FE		

チャンネル一覧

現在地の設定 (03 S02) を行ったときに各プリセット番号に登録される放送局は下記のとおりです。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。

割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

■ 表のみかた

地域 (都道府県)	徳島		お住まいの地域 プリセット番号
プリセット 番号と放送 局名	3	NHK総合・徳島	放送局名
	2	NHK教育・徳島	
	1	四国放送	

(2007年4月現在)

地域 (都道府県)	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)
プリセット 番号と放送 局名	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・北見
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・北見
	1	HBC札幌	1	HBC旭川	1	HBC北見
	5	STV札幌	5	STV旭川	5	STV北見
	6	HTB札幌	6	HTB旭川	6	HTB北見
	8	UHB札幌	8	UHB旭川	8	UHB北見
	7	TVH札幌	7	TVH旭川	7	TVH北見

地域 (都道府県)	北海道(室蘭)	宮城	秋田	山形	岩手	福島
プリセット 番号と放送 局名	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・秋田	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・室蘭	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・福島
	1	HBC室蘭	1	TBCテレビ	4	ABS秋田放送
	5	STV室蘭	8	仙台放送	8	AKT秋田テレビ
	6	HTB室蘭	4	ミヤギテレビ	5	AAB秋田朝日放送
	8	UHB室蘭	5	KHB東日本放送	6	テレビユー山形
	7	TVH室蘭			8	さくらんぼテレビ

お住まいの 地域	青森	東京	神奈川	群馬	茨城	千葉
プリセット 番号と放送 局名	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	1	RAB青森放送	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	6	ATV青森テレビ	6	TBS	6	TBS
	5	青森朝日放送	8	Fジテレビジョン	8	Fジテレビジョン
			5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京

地域 (都道府県)	栃木	埼玉	長野	新潟	山梨	愛知
プリセット 番号と放送 局名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・名古屋
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	BSN
	8	Fジテレビジョン	8	Fジテレビジョン	8	abn長野朝日放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	SBC信越放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	NBS長野放送
	3	とちぎテレビ	3	テレビ玉	3	群馬テレビ
	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学

地域 (都道府県)	石川	静岡	福井	富山	三重	岐阜
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・静岡	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・富山	3 NHK総合・津	3 NHK総合・岐阜
	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・富山	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋
	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBCテレビ	1 KNB北日本放送	1 東海テレビ	1 東海テレビ
	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT富山テレビ	5 CBC	5 CBC
	6 MRO	4 静岡第一テレビ		6 チューリップテレビ	6 M〜テレ	6 M〜テレ
8 石川テレビ	5 静岡朝日テレビ			4 中京テレビ	4 中京テレビ	
				7 三重テレビ	8 岐阜テレビ	

地域 (都道府県)	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良	滋賀
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・大津
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ
	7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ	3 BBCびわ湖放送

地域 (都道府県)	広島	岡山	島根	鳥取	山口	愛媛
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口	1 NHK総合・松山
	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・山口	2 NHK教育・松山
	3 RCCテレビ	4 西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY山口放送	4 南海放送
	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSテレビ山口	5 愛媛朝日
	5 広島ホームテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日	6 あいテレビ
	8 TSS	7 テレビせとうち				8 テレビ愛媛
		8 OHKテレビ				

地域 (都道府県)	香川	徳島	高知	福岡	熊本	長崎
プリセット 番号と放送 局名	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎
	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎
	4 西日本テレビ	1 四国放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送
	5 KSB瀬戸内海放送		6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州	8 TKUテレビ熊本	8 KTNテレビ長崎
	6 RSKテレビ		8 さんさんテレビ	1 KBC九州朝日放送	4 KKTくまもと県民	5 NCC長崎文化放送
	7 テレビせとうち			4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 NIB長崎国際テレビ
	8 OHKテレビ			5 FBS福岡放送		
				7 TVQ九州放送		
			8 TNCテレビ西日本			

地域 (都道府県)	鹿児島	宮崎	大分	佐賀	沖縄
プリセット 番号と放送 局名	3 NHK総合・鹿児島	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇
	2 NHK教育・鹿児島	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・那覇
	1 MBC南日本放送	6 MRT宮崎放送	3 OBS大分放送	3 STSサガテレビ	3 RBCテレビ
	8 KTS鹿児島テレビ	3 UMKテレビ宮崎	4 TOSテレビ大分		5 QAB琉球朝日放送
	5 KKB鹿児島放送		5 OAB大分朝日放送		8 沖縄テレビ(O-TV)
4 KYT鹿児島讀賣TV					

C
共通T
観るS
設定I
取得A
付録

地上デジタルTVチューナー・ソフトウェア 使用許諾契約書

株式会社ケンウッド（以下、「ライセンサー」）が提供する本体組み込みソフトウェア（以下、「許諾ソフトウェア」）はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権（第3条第1項に定める例外を除く）を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否に関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元オリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由が蒙るときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権およびその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

本体

受信チャンネル	UHF13～62チャンネル
受方式	地上デジタルテレビ放送の受信
アンテナ入力	4chダイバシティ受信対応
使用電源	DC14.4 V (10.5 V～16.0 V)
定格電流/消費電力	1.3 A/17.3 W
使用温度範囲	-5℃～+50℃
保存温度範囲	-30℃～+60℃
外形寸法 (W×H×D)	200.2×29.9×145.2 mm (突起部除く)
質量	890 g

フィルムアンテナ

受信チャンネル	UHF13～62チャンネル
周波数範囲	470.0～770.0 MHz
アンプ利得	9～12.5dB
出力インピーダンス	50Ω
ケーブル長	右：5.5m、左：5.5m
電源電圧	DC8V
エレメント寸法	100mm
重量	右：80g、左：80g

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「A01 故障かな?と思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください)。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

主な用語を解説します。
ここで解説されていない用語は、巻末の索引から説明ページを探すことができます。

B-CASカード

地上デジタルテレビ放送を受信するために必要なICカードです。☞ **C06**
さらに詳しい情報は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのホームページ (<http://www.b-cas.co.jp/>) をご覧ください。

現在地

チャンネルをプリセットするための情報で、都道府県単位で設定します。☞ **S02**
ナビの現在地とは無関係です。

受信情報

受信情報の表示には、チャンネル表示とバナー表示があります。☞ **T14**
通常、受信情報は番組の変わり目などで自動的に表示されます。このときの表示方法を変更できます。

☞ **S06**
また、必要なときに表示させることもできます。

☞ **T13**

受信モード

地上デジタルテレビ放送では、13のセグメントのうちの一つだけを使用するワンセグと、残りの12個のセグメントを使用する12セグがあります。
12セグでは、きれいな画像で受信できます。ワンセグでは、移動状態でも安定して受信できます。
本機は、ワンセグと12セグの両方に対応しており、必要に応じて自動的に切り替わります(自動受信モード)。自動受信モードの動作を設定することができます。☞ **S14**
手動で、ワンセグと12セグの受信を切り替えることもできます。☞ **T16**

チャンネル

チャンネルには、放送周波数と対応する物理チャンネルと、サービスと対応する論理チャンネルがあります。論理チャンネルは3桁の数字で表され、タッチコントロールまたはリモコンで指定して選局することができます。☞ **T11** **T12**
実際の放送では、12セグメントを使って異なる番組が放送される場合があります。このため、それぞれの領域に論理チャンネルが割り当てられています。
本書では、上記の論理チャンネルを単に「チャンネル」と表記しています。
物理チャンネルは、受信レベルの確認時(☞ **S13**)以外の本機の操作では意識する必要はありません。
なお、論理チャンネルのチャンネル番号の順番と物理チャンネルのチャンネル番号の順番は対応していません。

データ放送

地上デジタルテレビ放送では、放送中の通常の番組に連動して、または連動せずに、データ放送が行われています。☞ **T18**
データ放送では、画面に表示されるメニューなどを使って、画面に表示させるデータを選択できます。

☞ **T19**

データ放送は、通常は現在地を対象とするものを受信していますが、現在地以外の地域を対象とするデータ放送を受信することもできます。☞ **S05**

プリセット

12個のボタンにあらかじめ受信するチャンネルを設定しておきます。
かんたんセットアップ(☞ **C08**)、現在地設定(☞ **S02**)、またはチャンネルスキャン(☞ **S16**)を行うと、プリセットされます。
プリセットされているチャンネルの選択については、☞ **T05**、☞ **T06** または ☞ **T07** をご覧ください。

C 英数字

12セグモードに切り替える.....	T02、T04、T16
3桁のチャンネル番号で選局する.....	T11
B-CASカード.....	C06
B-CASカードの情報を表示する.....	S17
B-CASカードをセットする/取り出す.....	C07
B-CASカードをテストする.....	C08、S17

あ行

アンテナを設定する.....	S15
映像を切り替える.....	T15
音声を切り替える.....	T15

S 設定 かけ行

画面の位置を調整する.....	S09
かんたんセットアップ.....	C08、S12
緊急放送.....	T20
現在地.....	C08、S02、S16
現在地設定.....	S02

I 取得 さい行

再スキャン.....	S16
自動受信モード.....	S14
自動受信モードに切り替える.....	T02、T04、T16
自動受信モードの動作を設定する.....	S14
字幕を切り替える.....	T15
受信モード.....	T16
初期スキャン.....	S16
スキャン.....	C08、S16
スキャンしてプリセットする.....	S16
すべての設定を初期化する.....	S21
選局.....	T05、T06、T07、T08、T11、T12
操作音（ピープ音）を設定する.....	S10
ソフトウェアのバージョンアップスケジュールを 確認する.....	S19
ソフトウェアのバージョンアップの内容を 確認する.....	S19
ソフトウェアをバージョンアップする.....	S19

た行

ダイバシティ.....	S15
地上デジタルテレビ放送.....	C05
地デジ操作ボタン.....	T02
地デジメニュー.....	S01
地デジを観る（タッチ）.....	T01
地デジを観る（リモコン）.....	T03
チャンネル情報を表示する/消す.....	T13
チャンネル番号順に選局する.....	T12
チャンネル表示.....	T14
データ放送の利用地域を設定する.....	S05
データ放送の操作.....	T19
データ放送を観る.....	T18

は行

パナー/チャンネル表示を設定する.....	S06
パナー表示.....	T14
パナーを表示する/消す.....	T13
番組の詳細情報を見る.....	T10
番組の続きを観る.....	T17
番組表で選局する.....	T08
番組表を操作する.....	T09
番組表を表示する.....	T08
物理チャンネルの受信レベルを確認する.....	S13
プリセット一覧で選局する.....	T07
プリセット一覧を表示する.....	T07
プリセット番号順に選局する.....	T05
プリセット番号で選局する.....	T06
プリセットを初期化する.....	S04
放送局からの情報を見る.....	S18
放送事業者領域を表示する/削除する.....	S11

ま行

文字スーパーの表示方法を設定する.....	S07
-----------------------	-----

や行

- ユーザー画面の表示方法を設定する S08
- ユーザー設定を初期化する S20
- 郵便番号 C08、S05

ら行

- リモコン T04
- リレーサービス T17

わ行

- ワンセグモードに切り替える T02、T04、T16

C

共通

T

観
る

S

設
定

I

取
付

A

付
録

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。